

## II. 近隣都県居住者

# II. 近隣都県居住者の調査結果

### ※調査対象

近隣都県居住者：7都県×200サンプル＝1,400サンプル

(東京都、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)

(各都県、男女、年代別にそれぞれ20サンプルずつ)

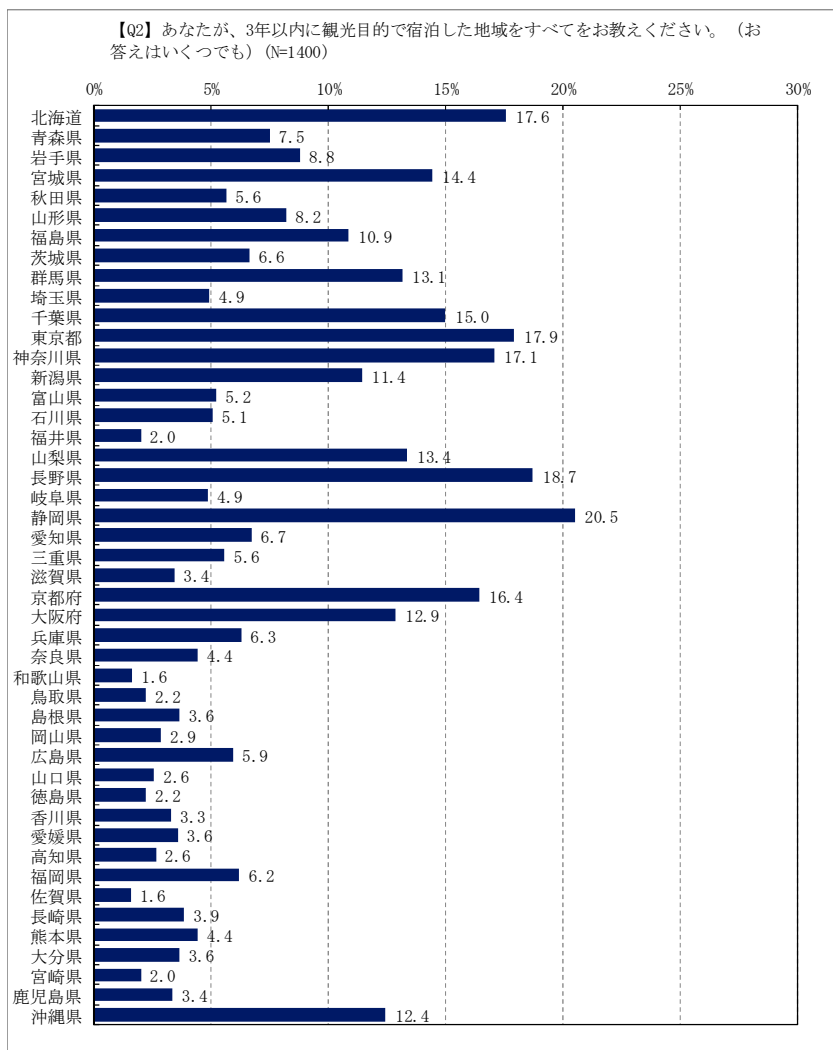
### 1. 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）

#### (1) 宿泊旅行地域

栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域をみると、「静岡県」(20.5%)が最も多く、次いで「長野県」(18.7%)、「東京都」(17.9%)、「北海道」(17.6%)、「神奈川県」(17.1%)、「京都府」(16.4%)、「千葉県」(15.0%)となっている。

図Ⅱ-1-(1)-7. 栃木県以外への宿泊旅行地域（複数回答）

(注) 回答者が居住する都県は除く



順位	都道府県	%
1	静岡県	20.5
2	長野県	18.7
3	東京都	17.9
4	北海道	17.6
5	神奈川県	17.1
6	京都府	16.4
7	千葉県	15.0
8	宮城県	14.4
9	山梨県	13.4
10	群馬県	13.1

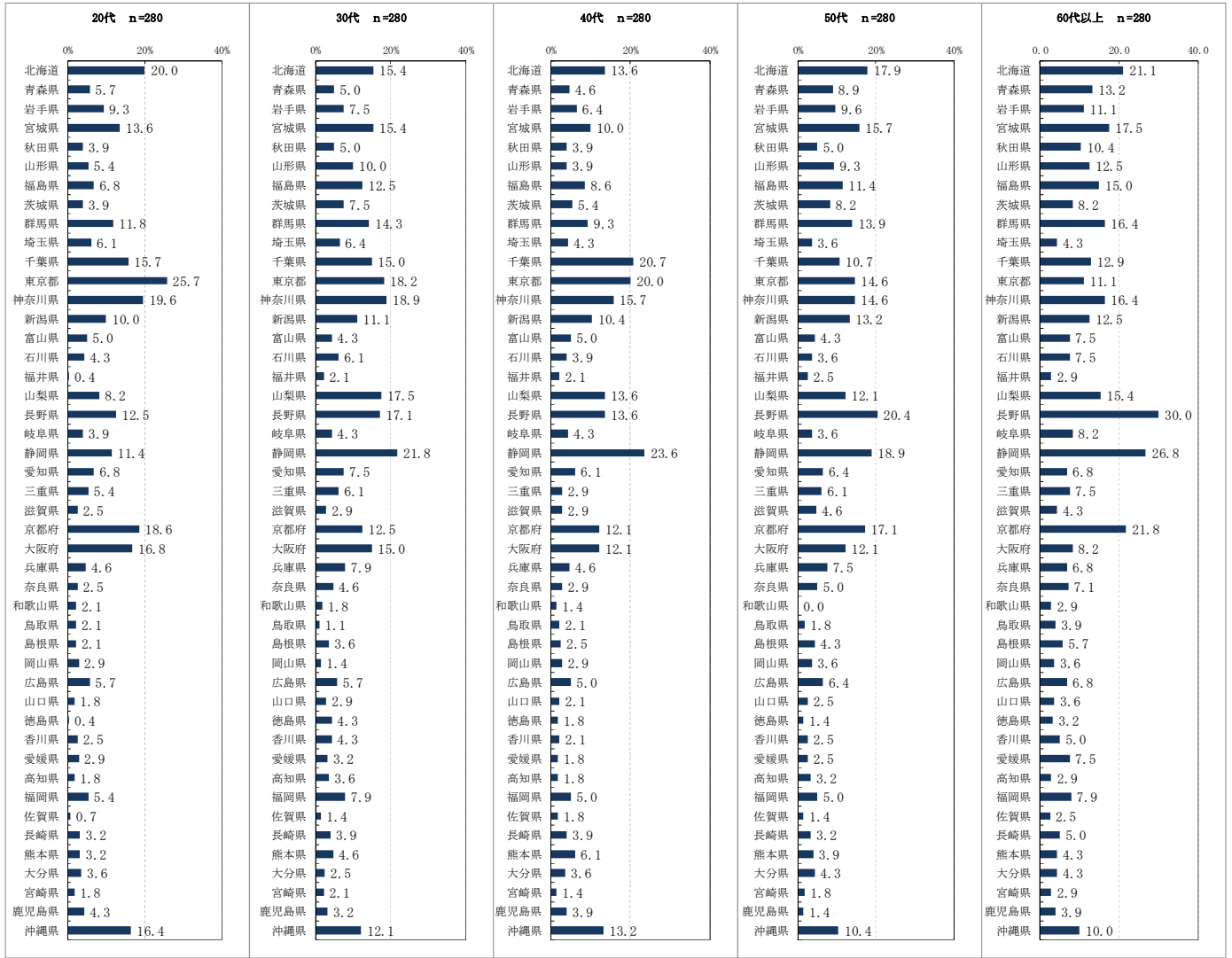
(注) 今回の調査で近隣都県居住者とは、東京都、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県  
の7都県の居住者のこと。

## II. 近隣都県居住者

栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域を年代別にみると、40代以下では「東京都」や「神奈川県」が上位にランクインしている。「50代」、「60代以上」では上位5県は同じ県がランクインしており、「60代以上」の方がその割合が増えている。

図Ⅱ-1-(1)-4. 栃木県以外への宿泊旅行地域(年代別) (複数回答)

(注) 回答者が居住する都県は除く



20代			30代			40代			50代			60代以上		
順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1	東京都	25.7	1	静岡県	21.8	1	静岡県	23.6	1	長野県	20.4	1	長野県	30.0
2	北海道	20.0	2	神奈川県	18.9	2	千葉県	20.7	2	静岡県	18.9	2	静岡県	26.8
3	神奈川県	19.6	3	東京都	18.2	3	東京都	20.0	3	北海道	17.9	3	京都府	21.8
4	京都府	18.6	4	山梨県	17.5	4	神奈川県	15.7	4	京都府	17.1	4	北海道	21.1
5	大阪府	16.8	5	長野県	17.1	5	北海道	13.6	5	宮城県	15.7	5	宮城県	17.5
						5	山梨県	13.6						
						5	長野県	13.6						



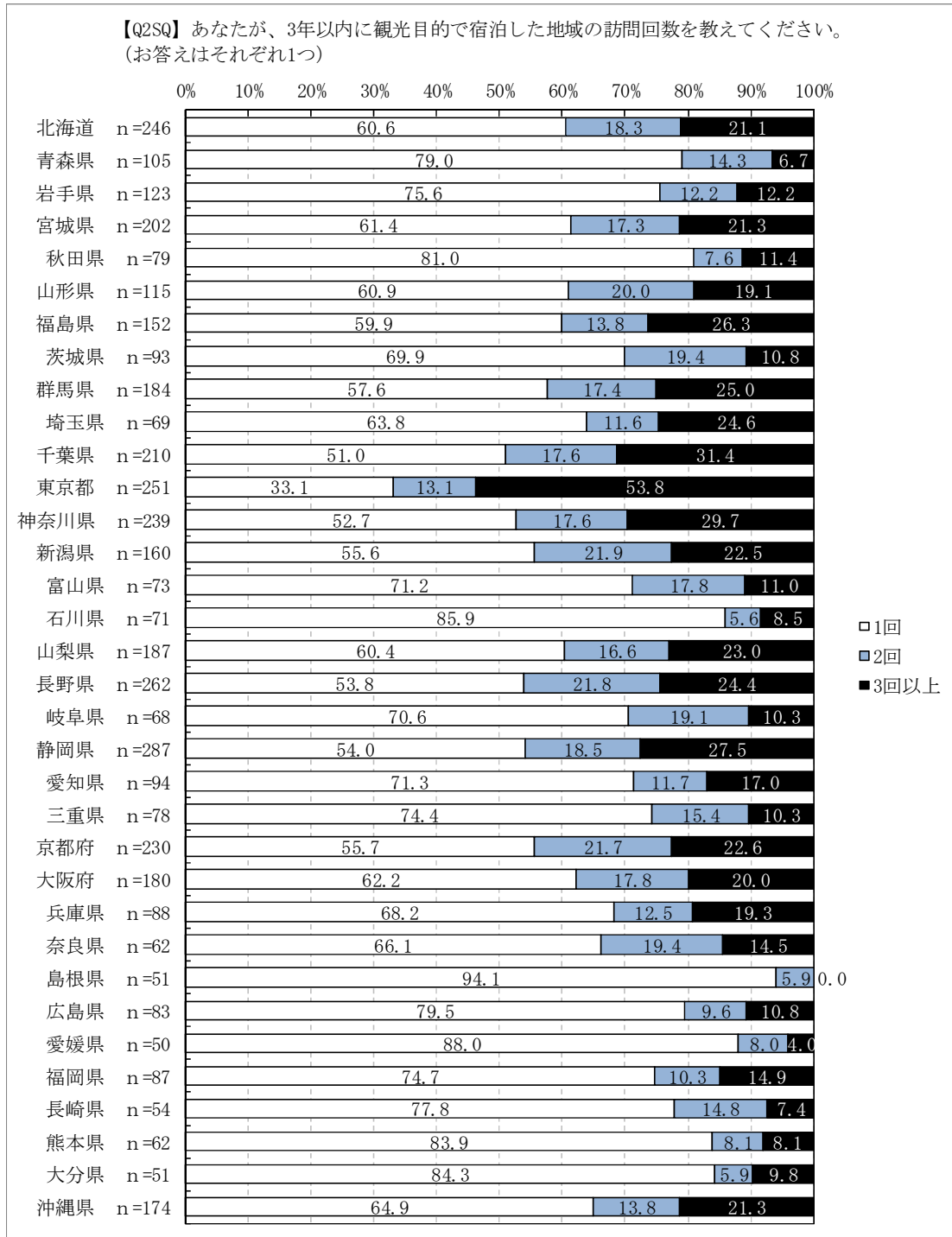
(2) 地域別訪問回数

栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域の訪問回数をみると、「東京都」で2回以上（注）が最も多く（66.9%）、次いで「千葉県」（49.0%）、「神奈川県」（47.3%）、「長野県」（46.2%）、「静岡県」（46.0%）、「新潟県」（44.4%）、「京都府」（44.3%）となっている。

「3回以上」でも「東京都」（53.8%）が最も多くなっており、「東京都」のリピート率の高さがわかる。

図 II-1-(2). 地域別宿泊旅行回数（n=50 以上）（単一回答）

（注）回答者が居住する都県は除く



（注）「2回」と「3回以上」の合計。

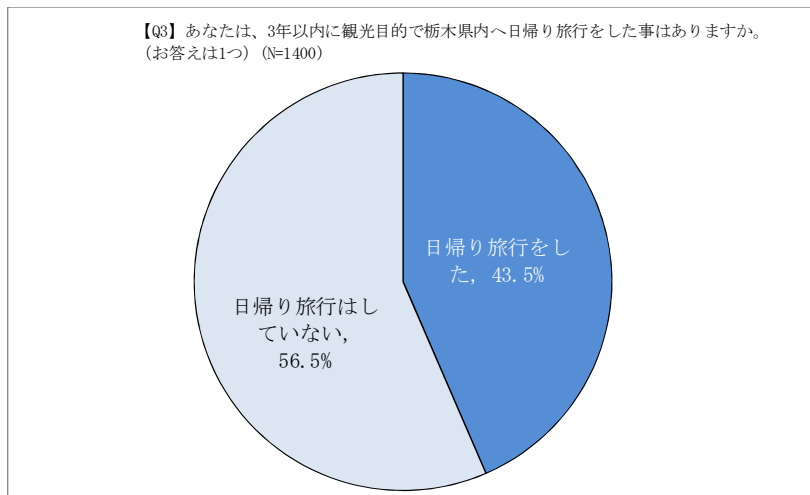
## II. 近隣都県居住者

### 2. 栃木県への日帰り旅行（3年以内）

#### （1）栃木県への日帰り旅行の有無

栃木県への日帰り旅行（3年以内）は、「日帰り旅行をした」が43.5%となった。

図Ⅱ-2-(1)-7. 栃木県への日帰り旅行の有無（単一回答）



## II. 近隣都県居住者

栃木県への日帰り旅行の有無を年代別性別にみると、「日帰り旅行をした」割合は概ね40%台前半となっているが、50代男性では53.6%とやや多くなっている。一方、40代女性では32.9%とやや少なくなっている。

図Ⅱ-2-(1)-1. 栃木県への日帰り旅行の有無（年代別性別）（単一回答）

【99】あなたは3年以内に観光目的で栃木県内への宿泊旅行をしましたか。（お答えは1つ）(N=1400)



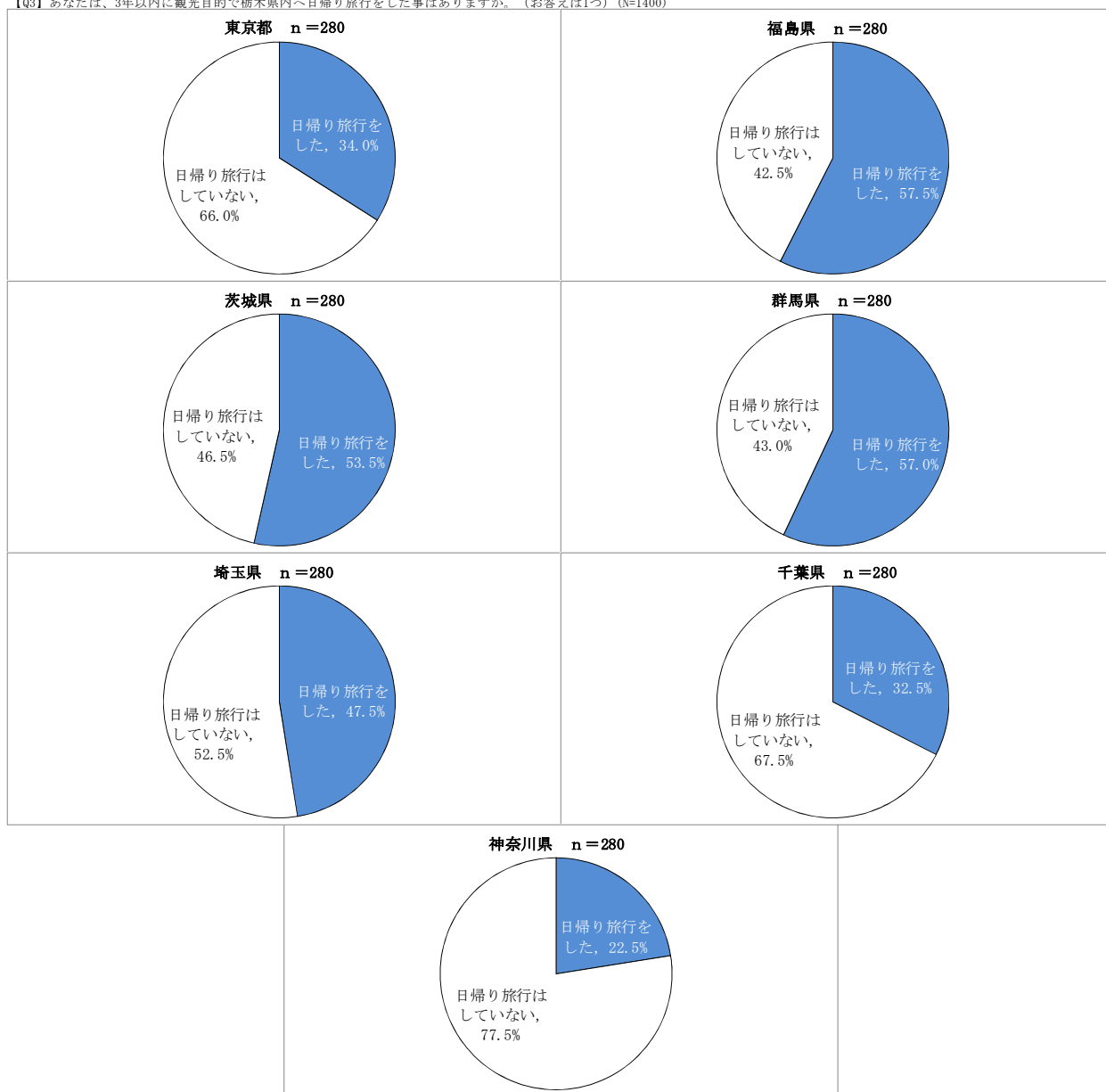
## II. 近隣都県居住者

栃木県への日帰り旅行の有無を居住地別にみると、「福島県」、「茨城県」、「群馬県」では「日帰り旅行をした」の割合が5割を超えている。また、「埼玉県」(47.5%)、「東京都」(34.0%)、「千葉県」(32.5%)、「神奈川県」(22.5%)と栃木県より遠くなるほど「日帰り旅行をした」の割合は少なくなっている。

「埼玉県」は隣県では唯一5割を割っており、アクセス面での不自由さも少ないことから今後開拓の余地が大きいと考えられる。

図 II-2-(1)-ウ. 栃木県への日帰り旅行の有無（居住地別）（単一回答）

【Q3】あなたは、3年以内に観光目的で栃木県内へ日帰り旅行をした事がありますか。（お答えは1つ）(N=1400)



(2) 日帰り旅行エリア

栃木県への日帰り旅行エリアをみると、「日光エリア」(71.9%)が最も多く、次いで「那須エリア」(59.4%)、「県央エリア」(40.1%)となっている。

エリア別の日帰り旅行の回数をみると、「那須エリア」で2回以上(注)(38.7%)が他のエリアに比べて多くなっている。

図 II-2-(2)-7. 日帰り旅行のエリア (複数回答)

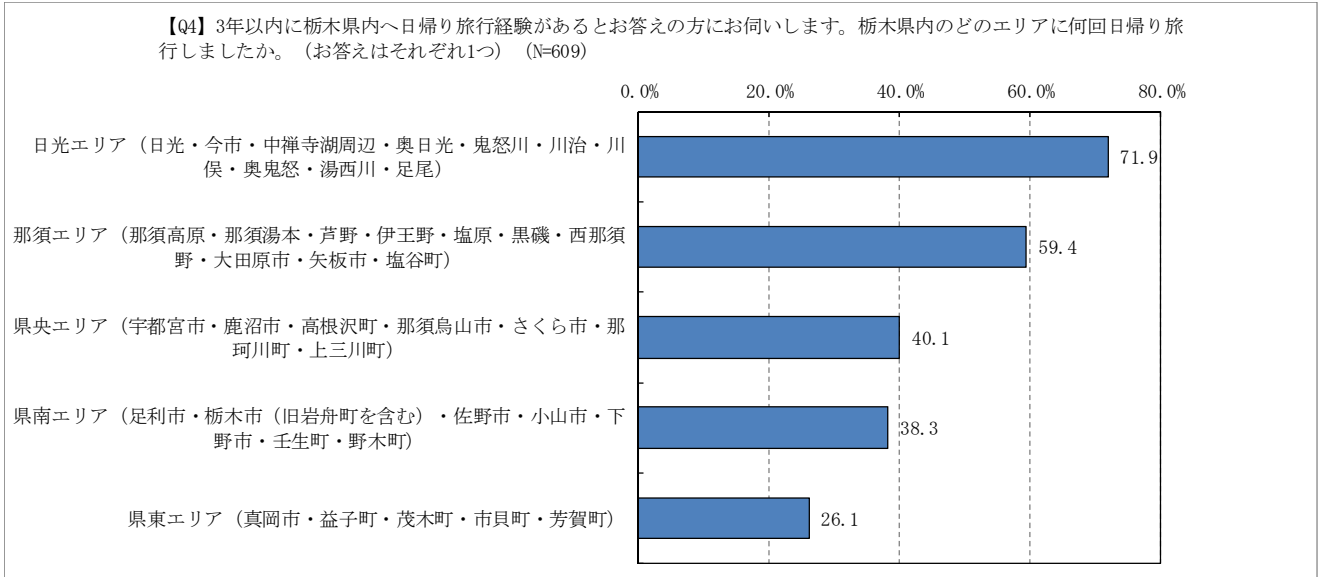
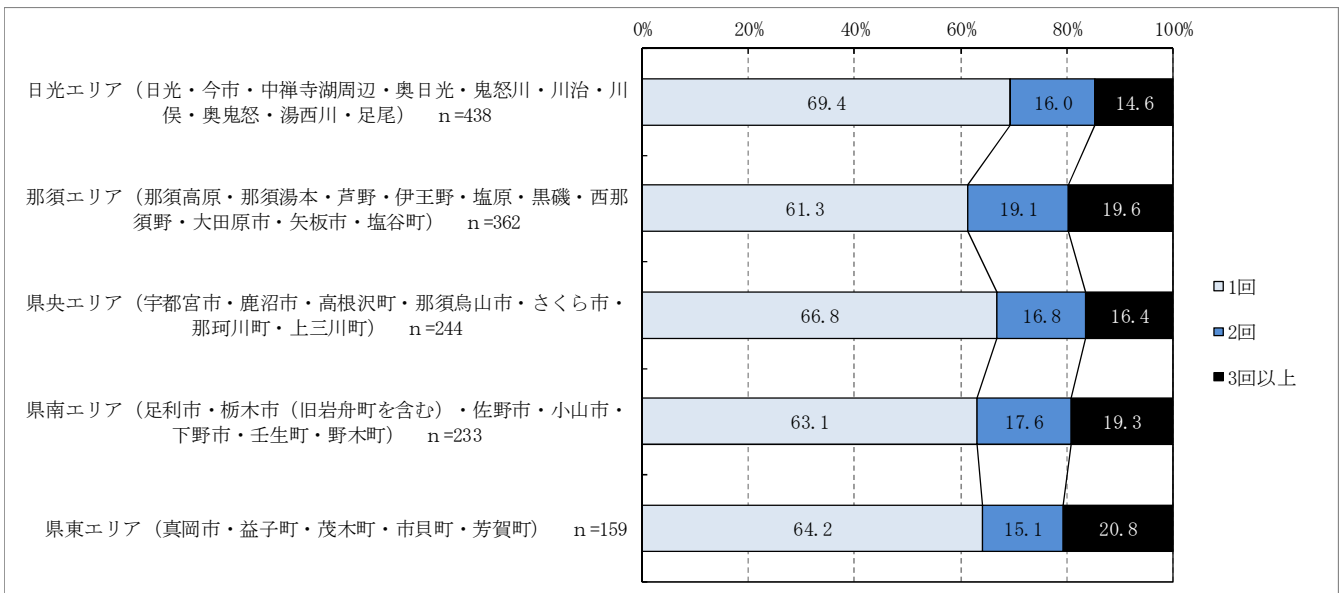


図 II-2-(2)-1. 日帰り旅行のエリア (回数) (単一回答)



(注) 2回以上は「2回」と「3回以上」の合計。

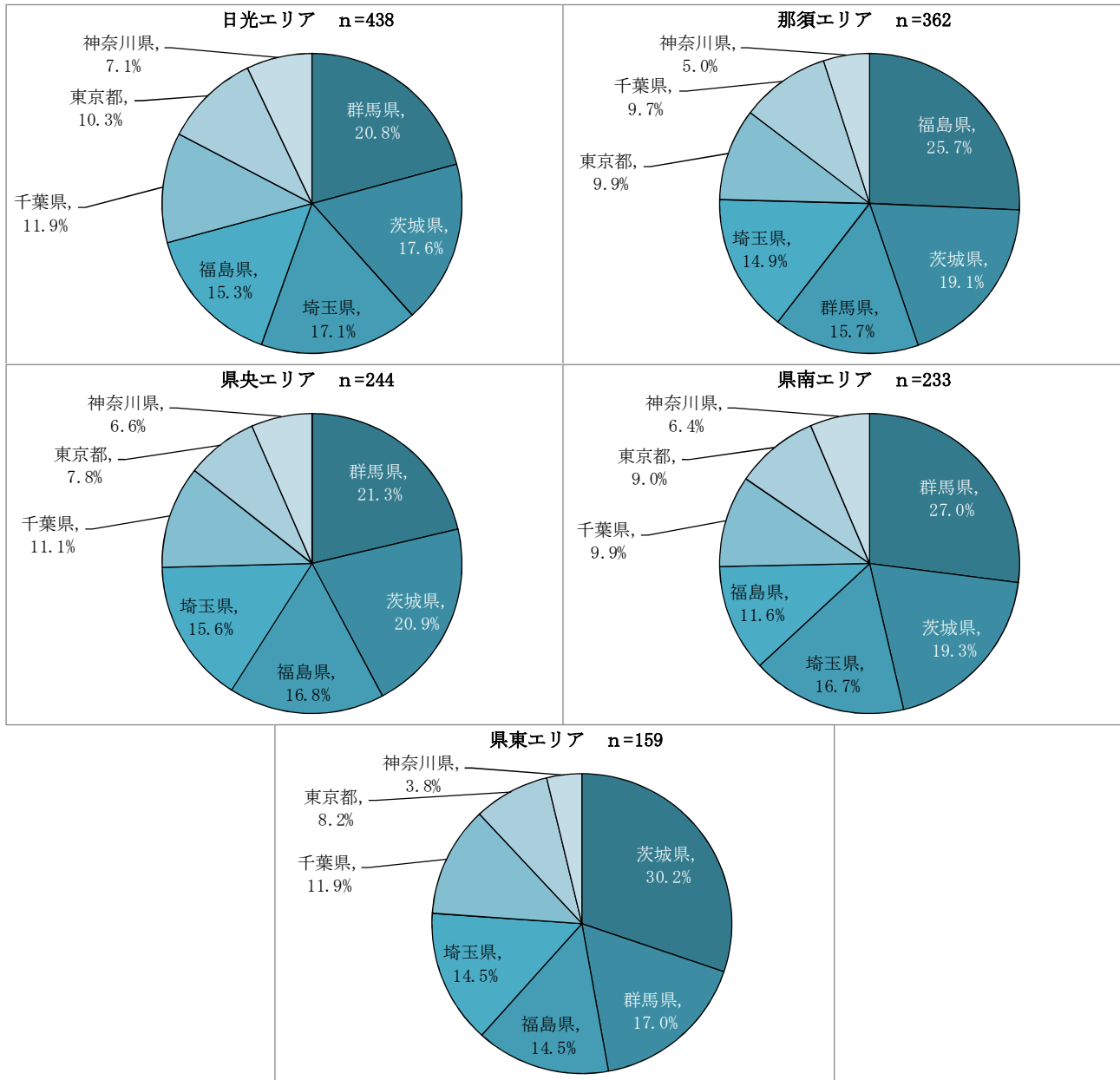


## II. 近隣都県居住者

### (3) 日帰り旅行エリア（エリア別）

日帰り旅行のエリアごとに居住地別の内訳をみると、「日光エリア」、「県央エリア」、「県南エリア」では「群馬県」が最も多く、「那須エリア」では「福島県」、「県東エリア」では「茨城県」が最も多くなっている。

図Ⅱ-2-(3). 日帰り旅行のエリア（エリア別）



(4) 日帰り旅行理由

栃木県への日帰り旅行をした理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(66.0%)が最も多く、次いで「魅力的な自然・景観があるから」(42.0%)、「魅力的な温泉があるから」(33.2%)となっている。

また、最も決め手となった理由をみても同様の傾向を示した。

図 II-2-(4)-7. 栃木県への日帰り旅行をした理由 (複数回答)

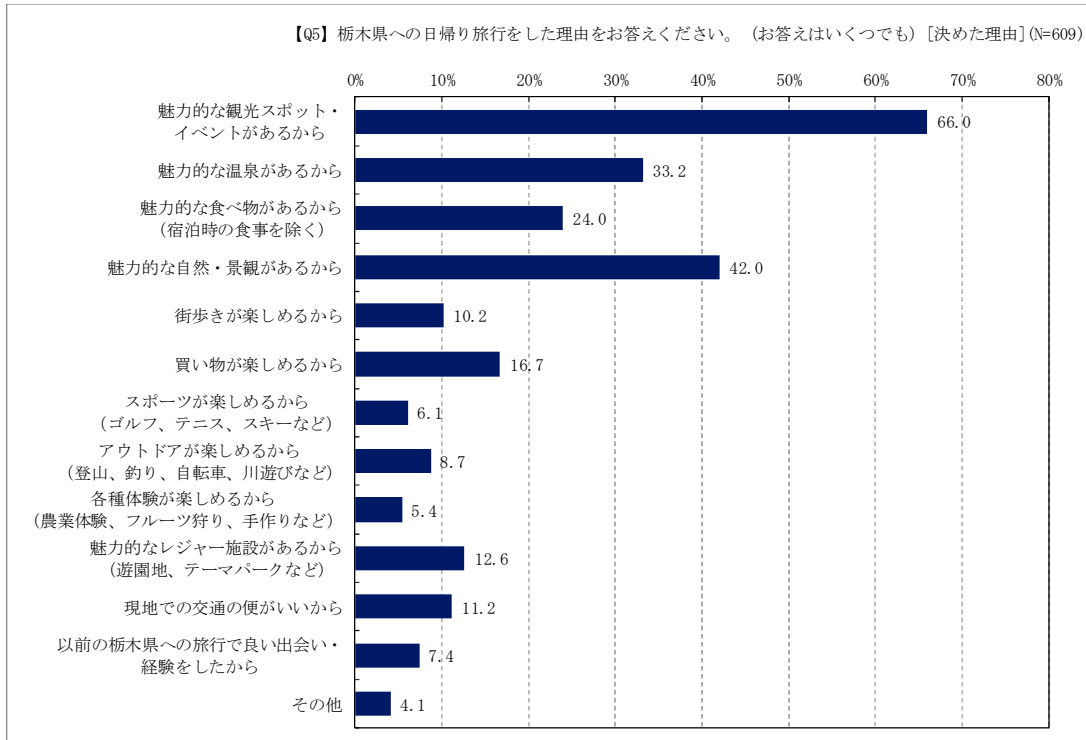
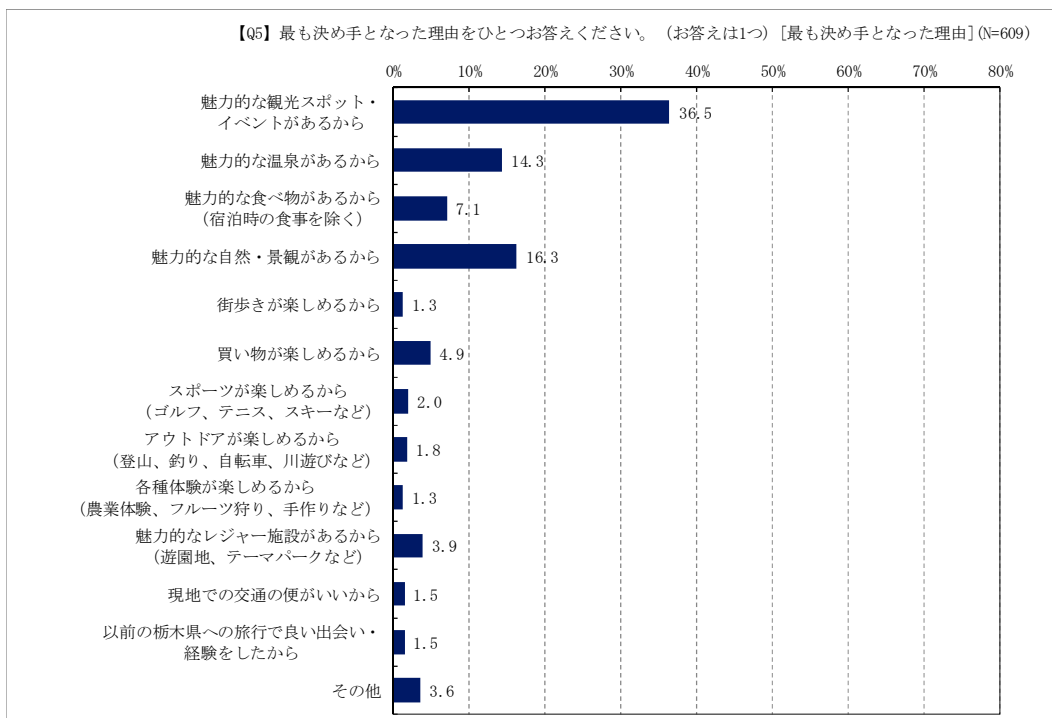


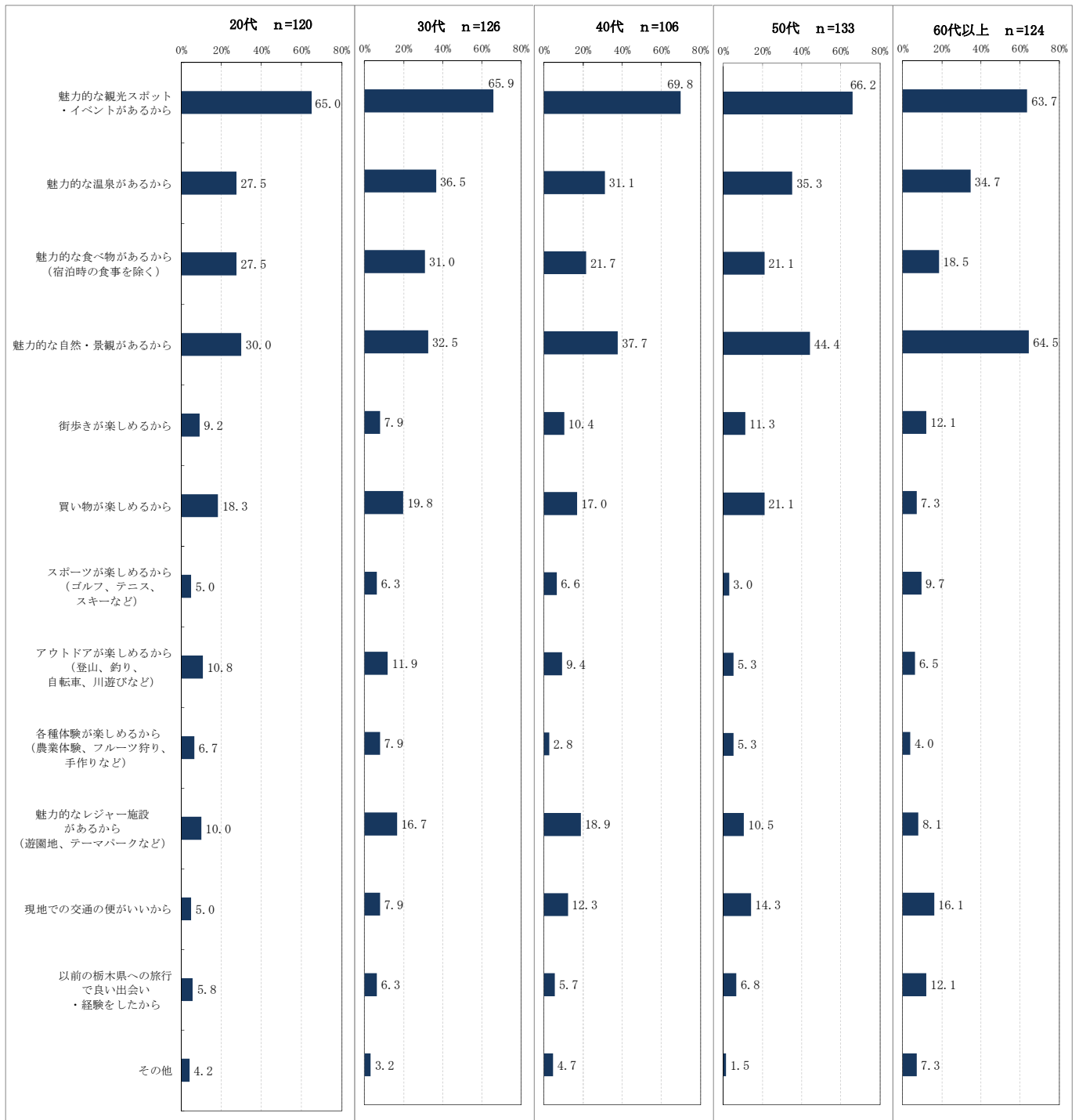
図 II-2-(4)-1. 栃木県への日帰り旅行をした理由 (最も決め手となったもの) (単一回答)



## II. 近隣都県居住者

年代別にみると、「魅力的な自然・景観があるから」では年代が上がるにつれて多くなっており、特に「60代以上」と「50代」では20ポイント以上の差がある。

図Ⅱ-2-(4)-ウ. 栃木県への日帰り旅行をした理由（年代別）（複数回答）



## II. 近隣都県居住者

### (5) 日帰り旅行理由（居住地別）

日帰り旅行の理由を居住地別にみると、那須エリアへの旅行者の多い「福島県」では、他の都県と比較して「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」、「魅力ある温泉があるから」、「魅力的な食べ物があるから」、「魅力的な自然・景観があるから」が多くなっている。

「茨城県」では他の都県と比較して「魅力的な自然・景観があるから」が多くなっている。

「群馬県」では他の都県と比較して「魅力ある温泉があるから」が多くなっている。

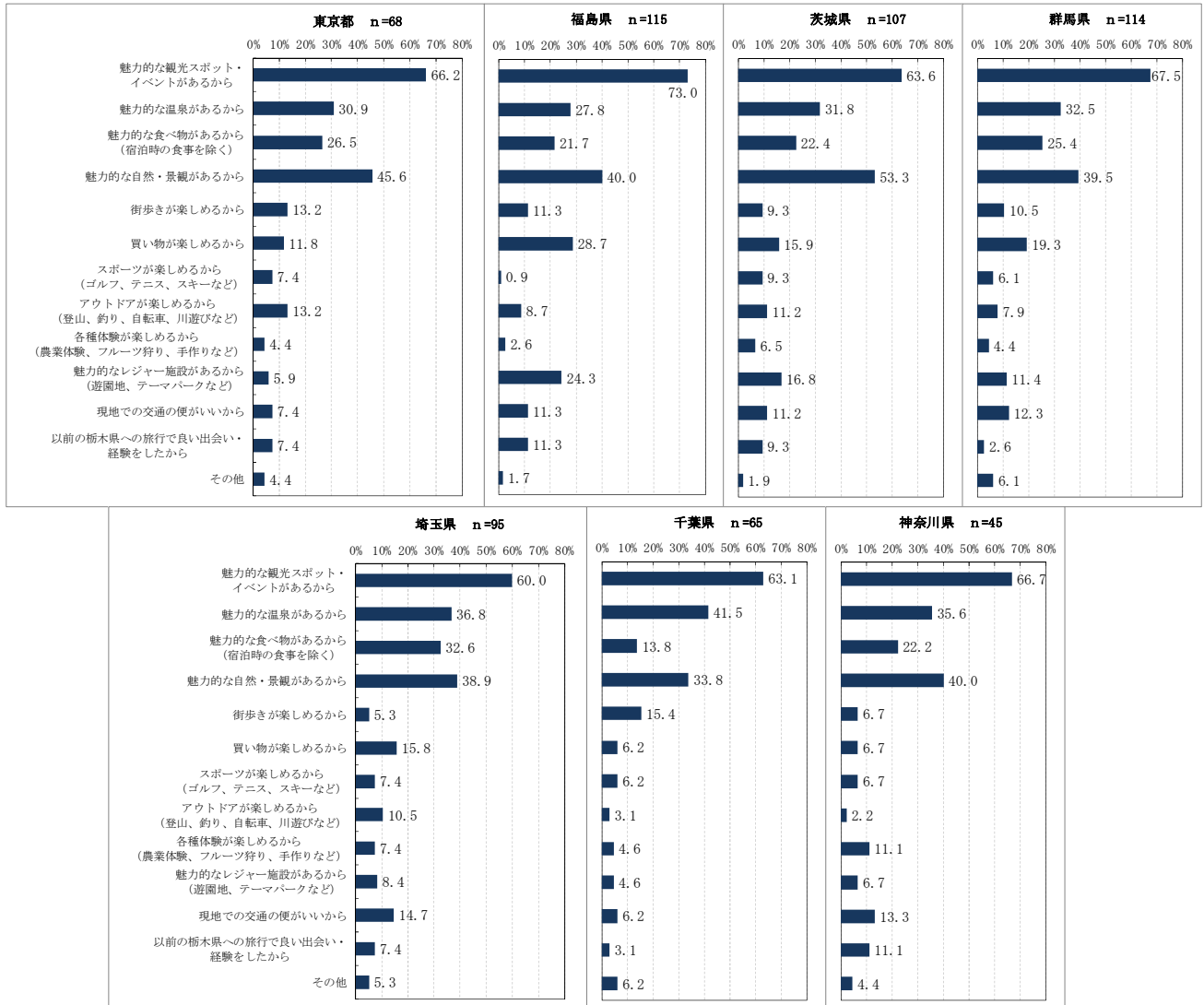
「埼玉県」では他の都県と比較して「魅力的な食べ物があるから」が多くなっている。距離的に近いこともあり、気軽に行ける食事スポットになっている可能性がある。また、「魅力的な温泉があるから」が多く日帰り旅行としての温泉利用が多いことがわかる。

「東京都」では他の都県と比較して「アウトドアが楽しめるから」が多く、「魅力的な自然・景観があるから」も比較的が多くなっている。

「千葉県」では他の都県と比較して「魅力的な温泉があるから」が多くなっている。

「神奈川県」では他の都県と比較して「各種体験が楽しめるから」が多くなっている。

図Ⅱ-2-(5). 栃木県への日帰り旅行をした理由（居住地別）（複数回答）



## II. 近隣都県居住者

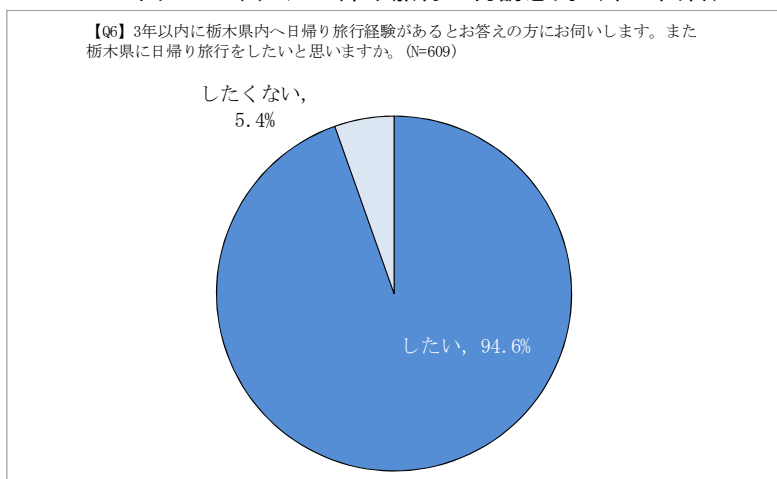
### (6) 日帰り旅行の再訪意向

栃木県への日帰り旅行の経験がある方の再訪意向（日帰り旅行）は、「したい」が94.6%と非常に多くなっている。

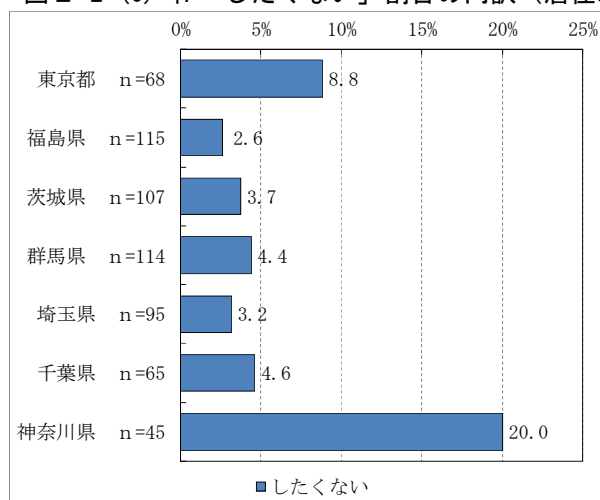
「したくない」の割合を居住地別にみると、「神奈川県」が最も多くなっている。

再び日帰り旅行をしたくないと答えた33人の主な理由は、「日帰り旅行先として遠すぎるから」（11人）、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（8人）、「現地での交通の便が悪いから」（5人）、「魅力的な食べ物がないから」（4人）であった。

図Ⅱ-2-(6)-7. 日帰り旅行の再訪意向（単一回答）



図Ⅱ-2-(6)-イ. 「したくない」割合の内訳（居住地別）



(注) n は N=609 の内訳。

図Ⅱ-2-(6)-ウ. 再び日帰り旅行をしたくない理由（33人）の上位4つ（複数回答）

順位	再び日帰り旅行をしたくない理由	人
1	日帰り旅行先として遠すぎるから	11
2	魅力的な観光スポット・イベントがないから	8
3	現地での交通の便が悪いから	5
4	魅力的な食べ物がないから (宿泊時の食事を除く)	4

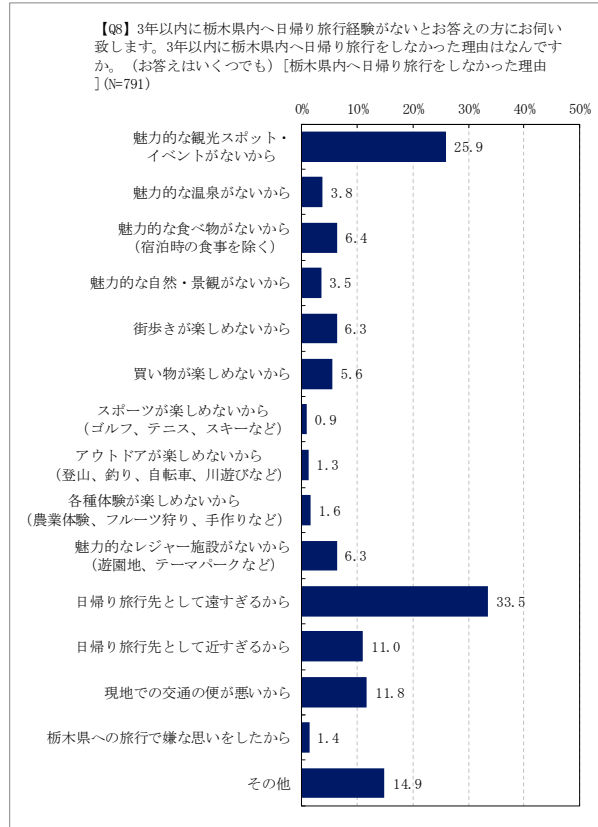
## II. 近隣都県居住者

### (7) 日帰り旅行をしなかった理由

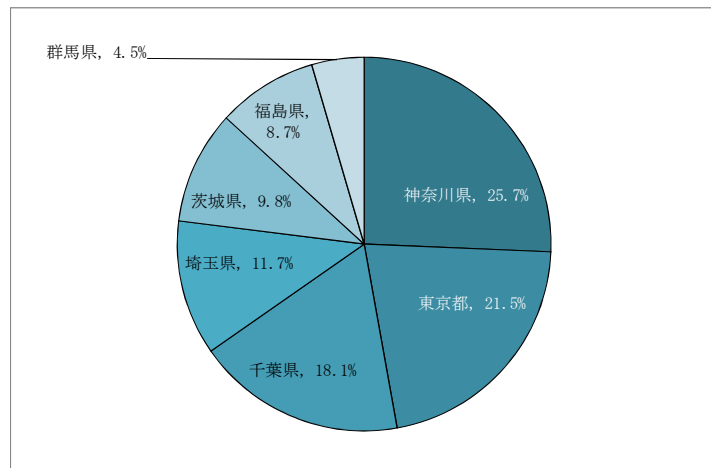
栃木県への日帰り旅行（3年以内）をしなかった理由は、「日帰り旅行先として遠すぎるから」（33.5%）が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（25.9%）、「現地での交通の便が悪いから」（11.8%）となっている。

また、日帰り旅行をしなかった理由として「日帰り旅行先として遠すぎるから」と回答した方の居住地別の内訳をみると、「神奈川県」（25.7%）が最も多く、次いで「東京都」（21.5%）、「千葉県」（18.1%）となっており、栃木県から遠い都県が多くなっている。

図Ⅱ-2-(7)-7. 日帰り旅行をしなかった理由（複数回答）



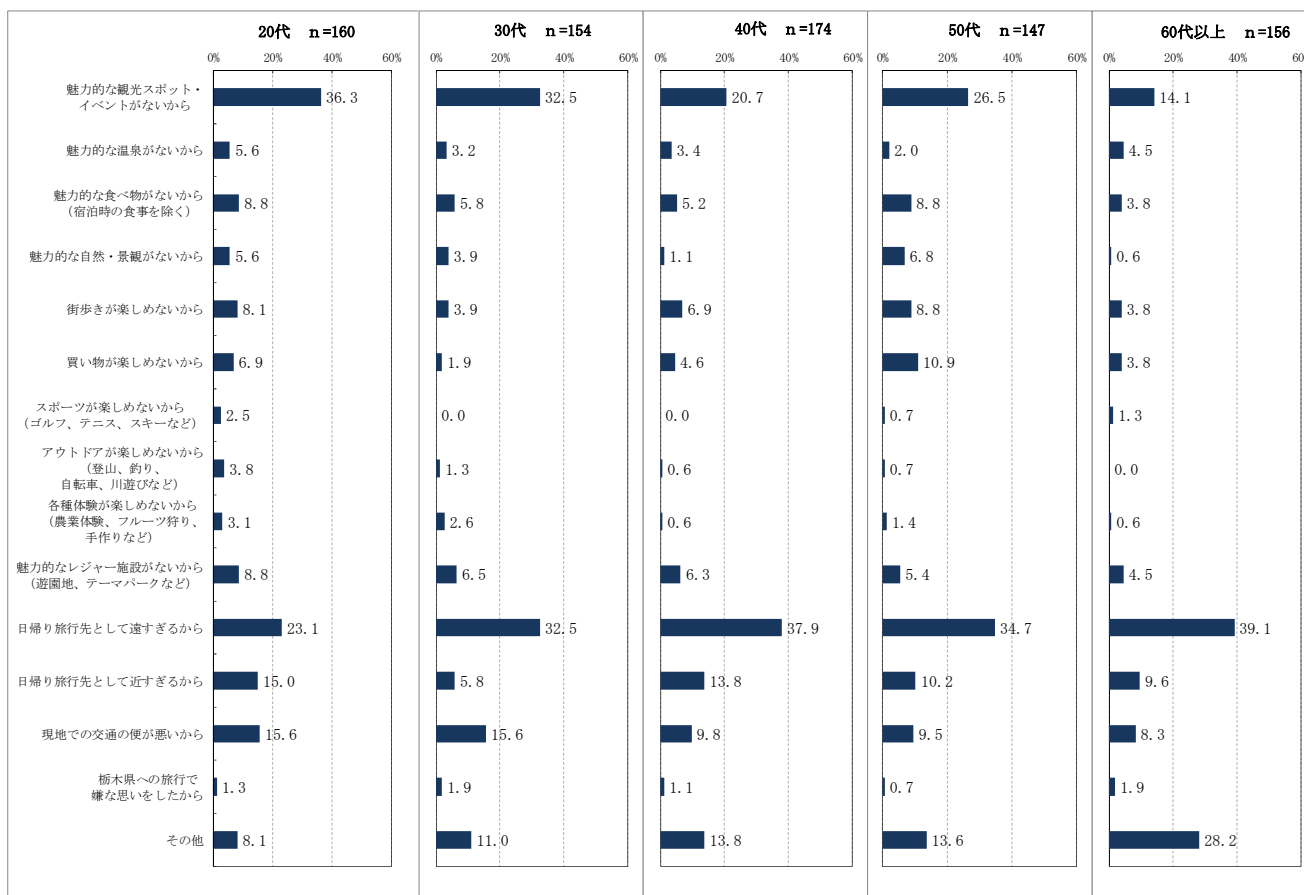
図Ⅱ-2-(7)-1. 「日帰り旅行先として遠すぎるから」の居住地別の内訳



## II. 近隣都県居住者

年代別にみると、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の割合は年代が下がるほど多く、若い年代の栃木県の観光スポット・イベントに対する認識が低い可能性がある。一方で、日帰り旅行をした理由（40頁参照）では若い年代でも他の年代と比較して「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」の割合は低くない。また、「日帰り旅行先として遠すぎるから」の割合は若い年代ほど低いため、若い年代の観光スポット・イベントへの認識が高まれば、栃木県への日帰り旅行が増える可能性がある。

図Ⅱ-2-(7)-ウ. 日帰り旅行をしなかった理由（年代別）（複数回答）

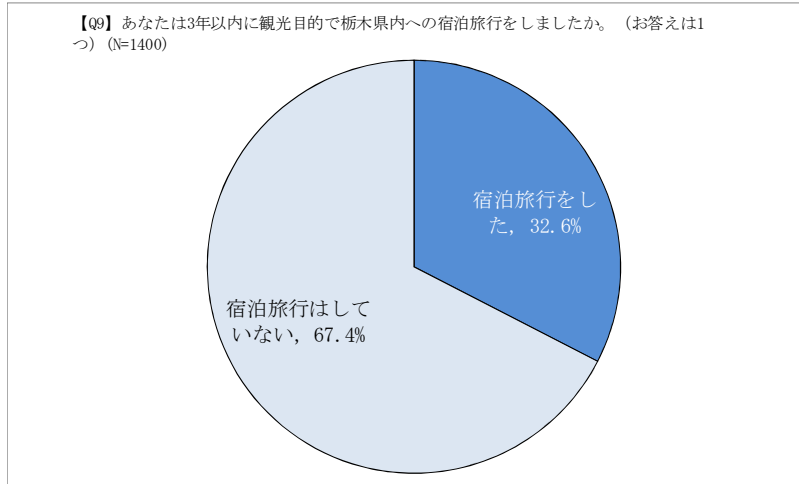


3. 栃木県への宿泊旅行（3年以内）

(1) 栃木県への宿泊旅行の有無

栃木県への宿泊旅行（3年以内）は、「宿泊旅行をした」が32.6%となった。

図 II-3-(1)-7. 栃木県への宿泊旅行の有無（単一回答）



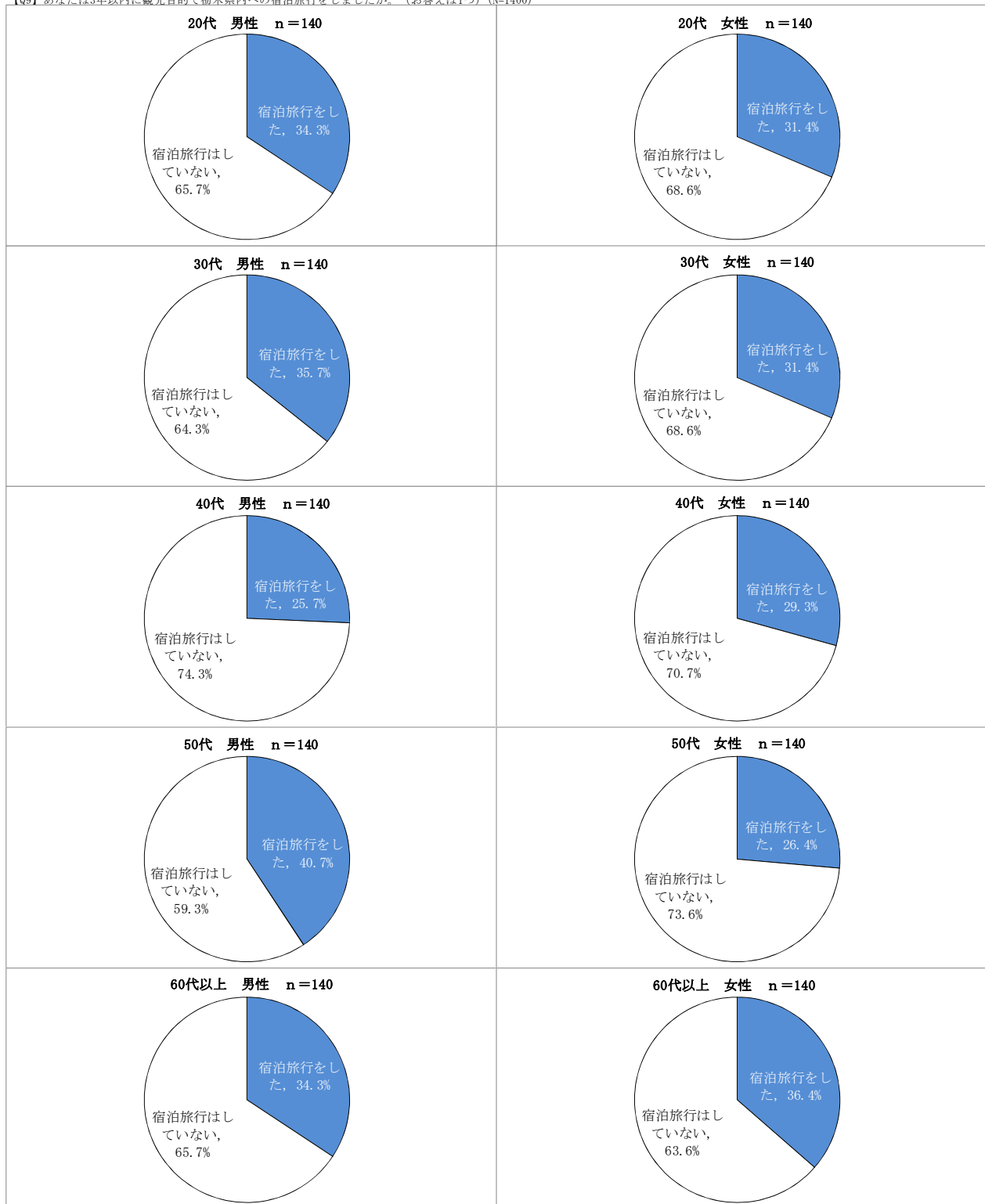


## II. 近隣都県居住者

栃木県への宿泊旅行の有無を年代別性別にみると、「宿泊旅行をした」人の割合は、「50代男性」でやや多く、「40代男性」、「50代女性」でやや少なくなっている。

図 II-3-(1)-I. 栃木県への宿泊旅行の有無（年代別性別）（単一回答）

【Q9】あなたは3年以内に観光目的で栃木県内への宿泊旅行をしましたか。（お答えは1つ）(N=1400)



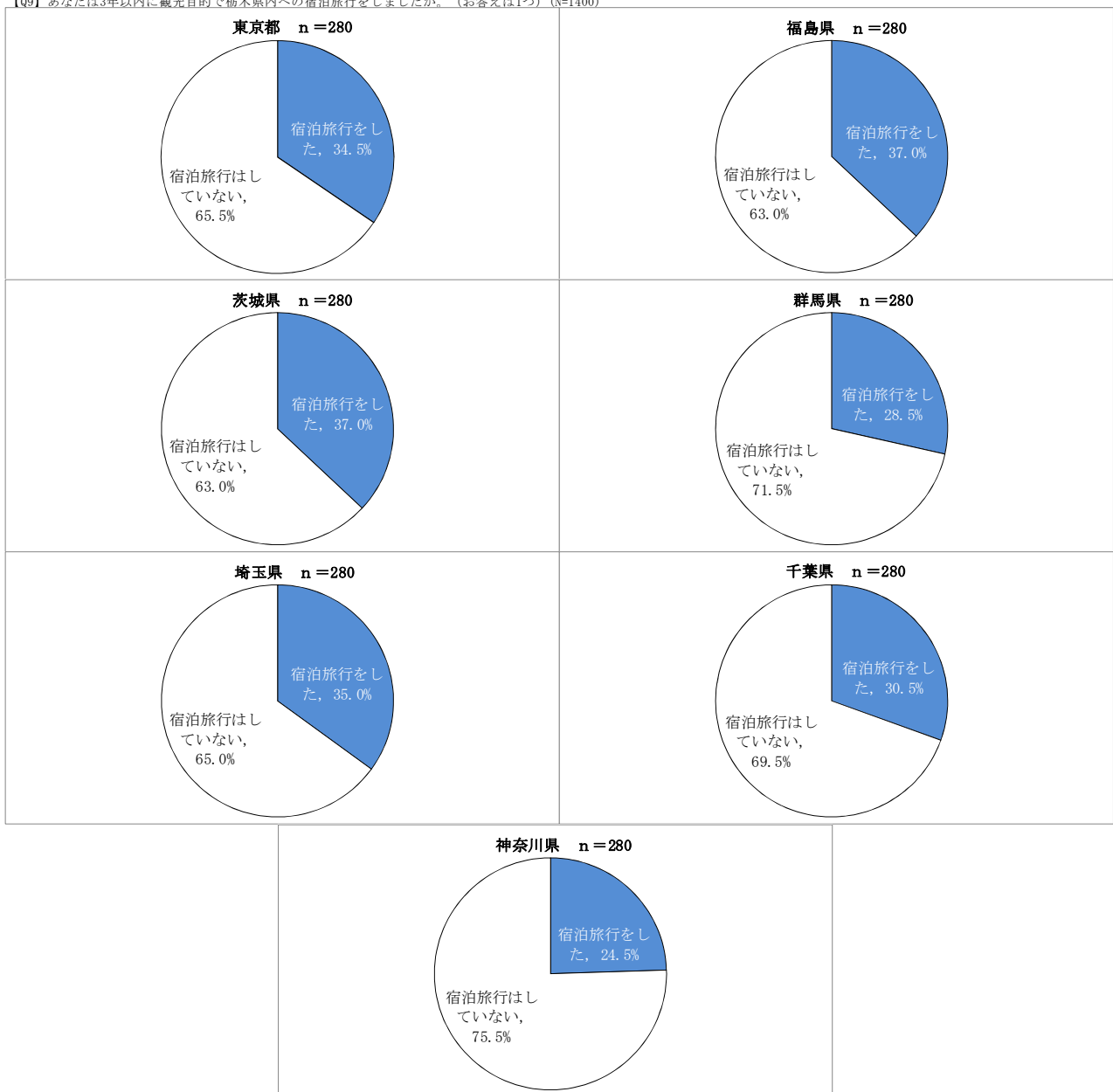
## II. 近隣都県居住者

栃木県への宿泊旅行の有無を居住地別にみると、「福島県」、「茨城県」で「宿泊旅行をした」の割合がやや多い。一方、「群馬県」、「千葉県」、「神奈川県」では他の都県と比較して少なくなっている。特に「神奈川県」は24.5%と最も少なくなっている。

栃木県に隣接する「福島県」、「茨城県」は「日帰り旅行をした」割合（36頁参照）も多くなっている。一方、「群馬県」は「日帰り旅行をした」割合が多いのに対して、「宿泊旅行をした」の割合が少ない。「群馬県」の宿泊旅行をしなかった理由をみると、「日帰り旅行で十分だから」の割合が7都県の中で最も多くなっている（54頁参照）。「群馬県」からの宿泊旅行者を増やすためには、近くても泊まることの動機づけが必要となろう。

図Ⅱ-3-(1)-ウ. 栃木県への宿泊旅行の有無（居住地別）（単一回答）

【99】あなたは3年以内に観光目的で栃木県内への宿泊旅行をしましたか。（お答えは1つ）（N=1400）



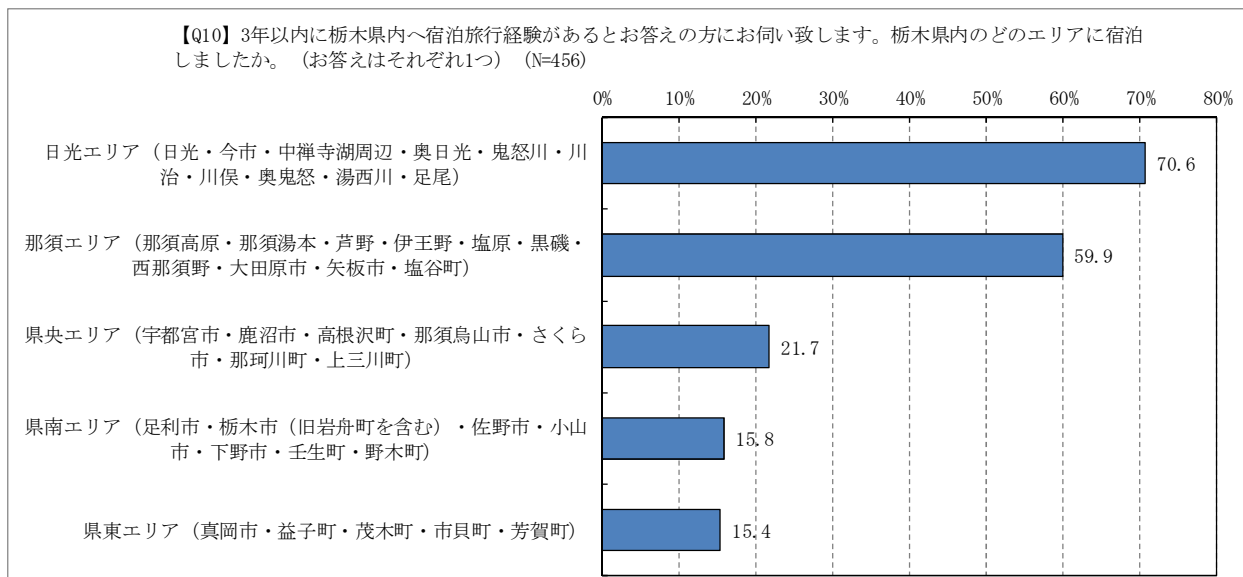
## II. 近隣都県居住者

### (2) 宿泊旅行エリア

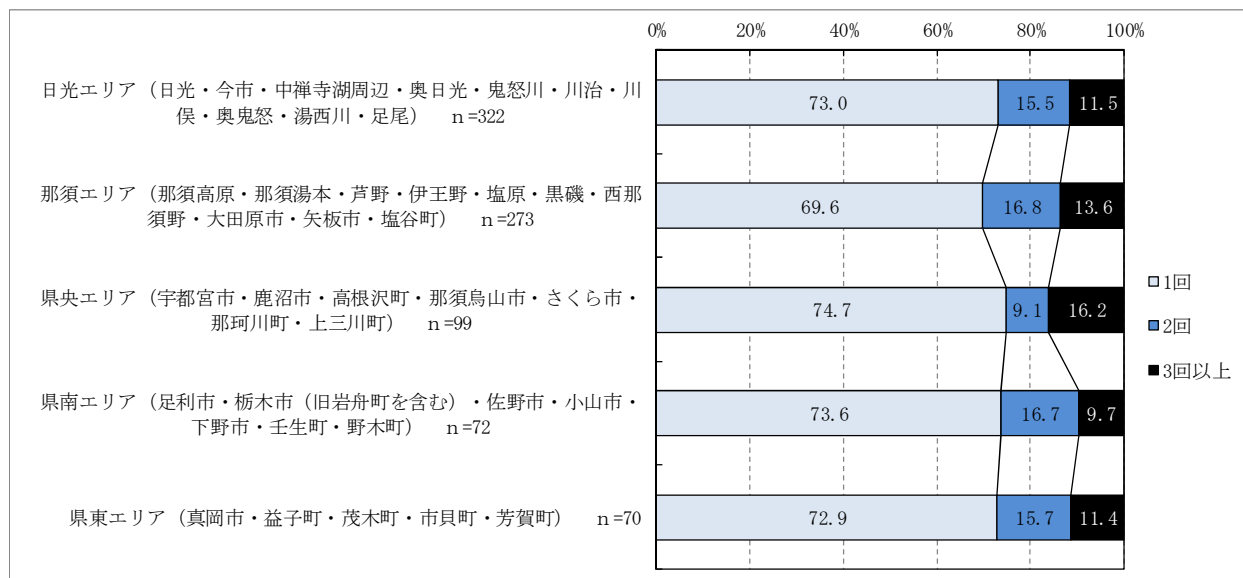
栃木県への宿泊旅行エリアをみると、圧倒的に「日光エリア」(70.6%)、「那須エリア」(59.9%)が多くなっている。

エリア別の宿泊旅行回数をみると、「那須エリア」で2回以上(注)(30.4%)がやや多くなっている。

図Ⅱ-3-(2)-7. 宿泊旅行のエリア (複数回答)



図Ⅱ-3-(2)-4. 宿泊旅行のエリア (回数) (単一回答)



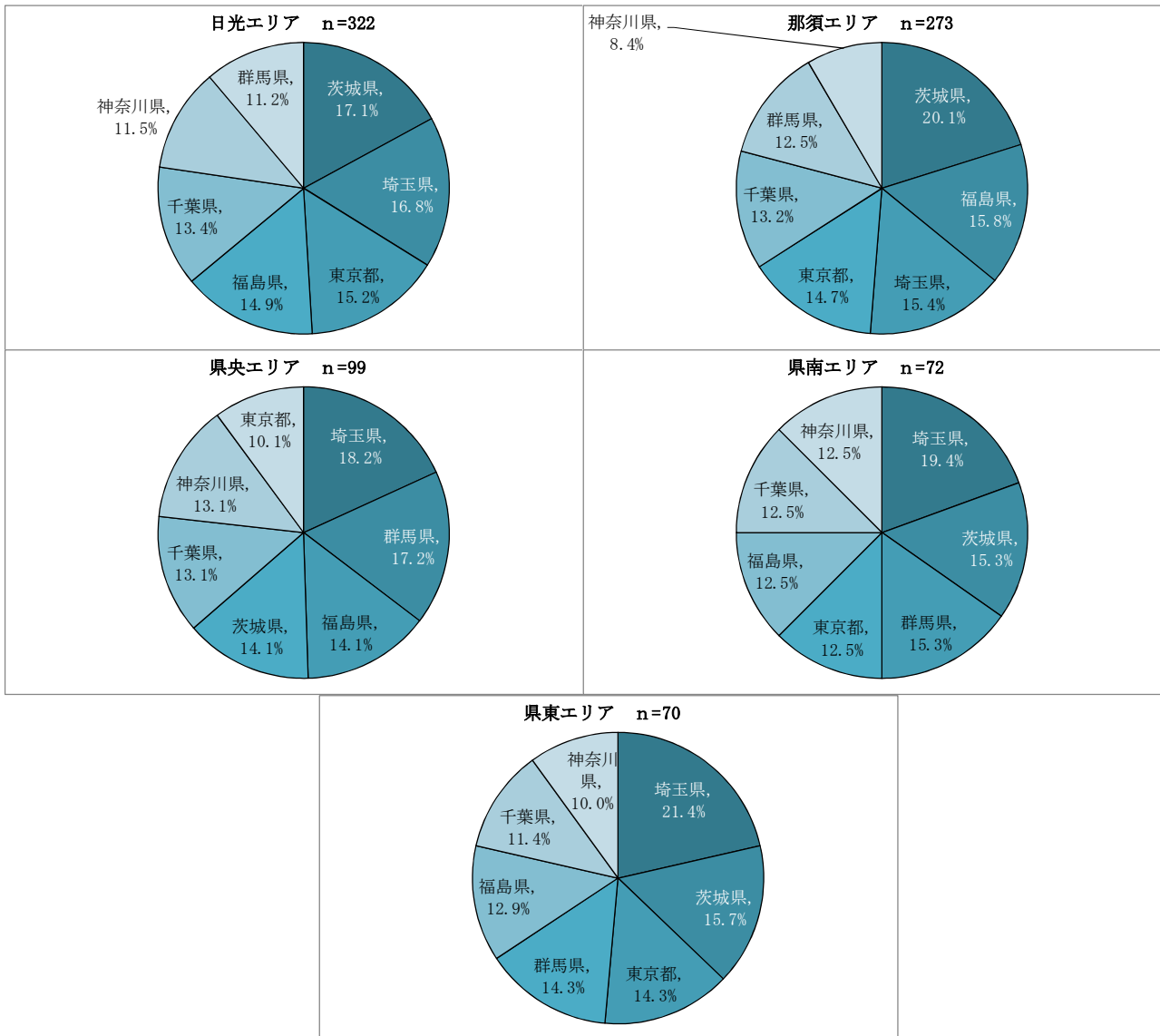
(注) 2回以上は「2回」と「3回以上」の合計。

## II. 近隣都県居住者

### (3) 宿泊旅行エリア（エリア別）

宿泊旅行のエリアごとに居住地別の内訳をみると、「日光エリア」、「那須エリア」では「茨城県」が最も多く、「県央エリア」、「県南エリア」、「県東エリア」では「埼玉県」が最も多くなっている。また、訪問者数の多い「日光エリア」、「那須エリア」で隣県の「群馬県」の割合が低くなっている。

図Ⅱ-3-(3). 宿泊旅行のエリア（エリア別）



## II. 近隣都県居住者

### (4) 宿泊旅行理由

栃木県への宿泊旅行を決めた理由は、「魅力的な温泉があるから」(54.8%)が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(46.1%)、「魅力的な宿泊施設があるから」(39.9%)となっている。

また、最も決め手となった理由も同様の傾向を示した。

図 II-3-(4)-7. 栃木県への宿泊旅行を決めた理由 (複数回答)

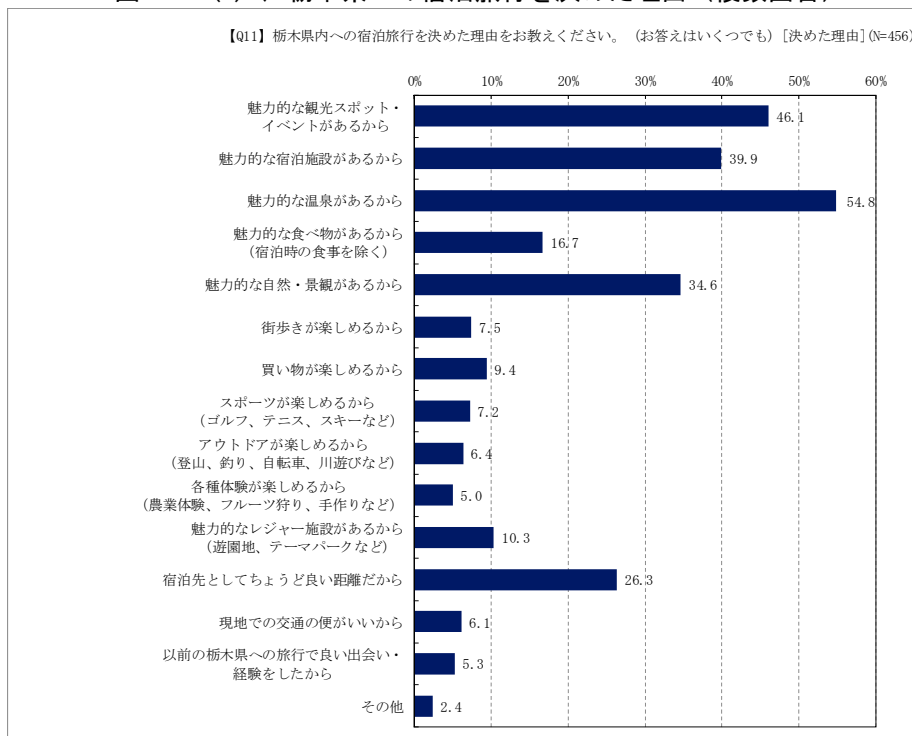
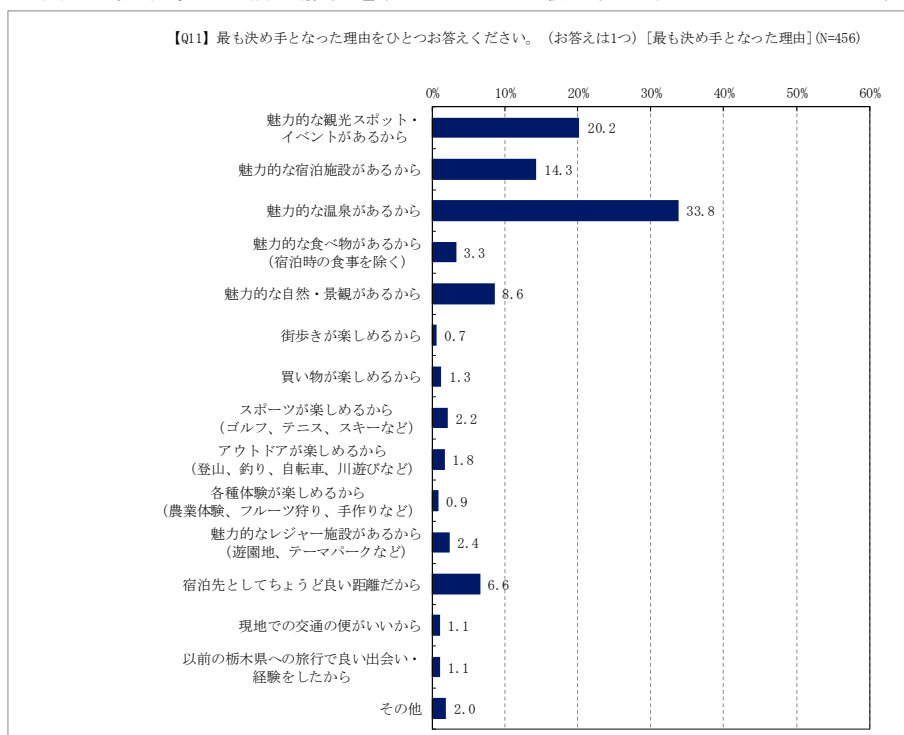


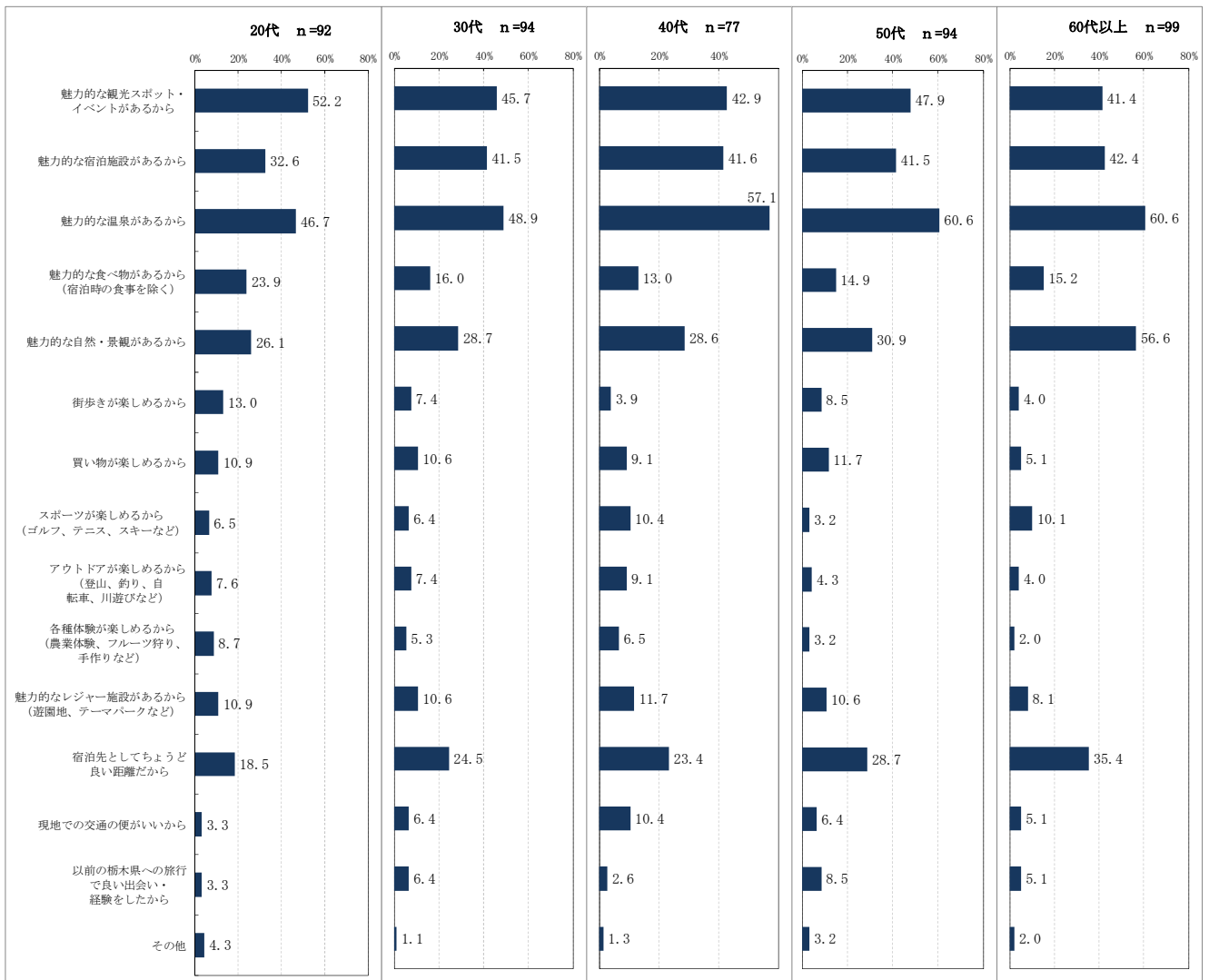
図 II-3-(4)-1. 栃木県への宿泊旅行を決めた理由 (最も決め手となったもの) (単一回答)



## II. 近隣都県居住者

年代別にみると、「魅力的な温泉があるから」と「魅力的な自然・景観があるから」の割合は年代が高くなるほど多くなっている。

図Ⅱ-3-(4)-ウ. 栃木県への宿泊旅行を決めた理由（年代別）（複数回答）



## II. 近隣都県居住者

### (5) 宿泊旅行理由（居住地別）

宿泊旅行の理由を居住地別にみると、「東京都」では他の都県と比較して「魅力的な自然・景観があるから」の割合が多い。これは日帰り旅行の理由でも同様で、他の都県よりも自然・景観を重視する傾向にある。

「福島県」では他の都県と比較して「買い物が楽しめるから」が多い。これは日帰り旅行の理由でも同様である。

「茨城県」では他の都県と比較して「魅力的な温泉があるから」が多い。また、「魅力的な自然・景観があるから」、「魅力的なレジャー施設があるから」、「宿泊先としてちょうど良い距離だから」も他の都県と比較して多くなっている。

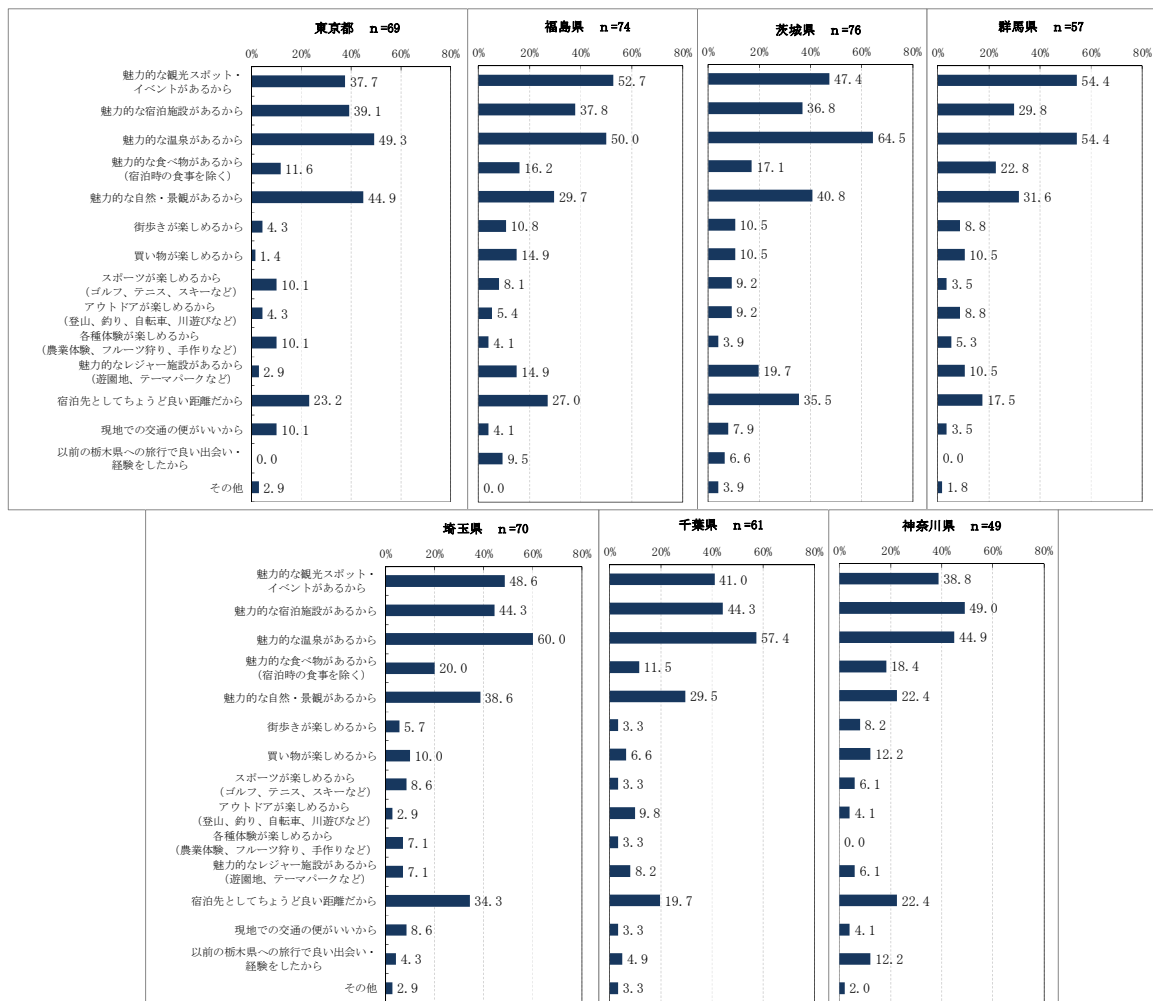
「群馬県」では他の都県と比較して「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」、「魅力的な食べ物があるから」が多い。

「埼玉県」では他の都県と比較して「魅力的な温泉あるから」が多い。日帰り旅行の理由でも温泉が多くなっているが、宿泊旅行ではさらにその割合が多くなっている。また、「魅力的な宿泊施設があるから」、「宿泊先としてちょうど良い距離だから」も多くなっている。

「千葉県」では他の都県と比較して「魅力的な宿泊施設があるから」が多くなっている。

「神奈川県」では他の都県と比較して「魅力的な宿泊施設があるから」が多くなっている。

図 II-3-(5). 栃木県への宿泊旅行を決めた理由（居住地別）（複数回答）



(6) 宿泊旅行の再訪意向

栃木県への宿泊旅行の経験がある方の再訪意向（宿泊旅行）は、「したい」が 97.6%と非常に多くなっている。

再び宿泊旅行をしたくないと答えた 11 人の主な理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（3人）、「日帰りで十分だから」（3人）、「魅力的なレジャー施設がないから」（2人）、「宿泊地まで遠すぎるから」（2人）であった。

図 II-3-(6)-7. 宿泊旅行の再訪意向（単一回答）

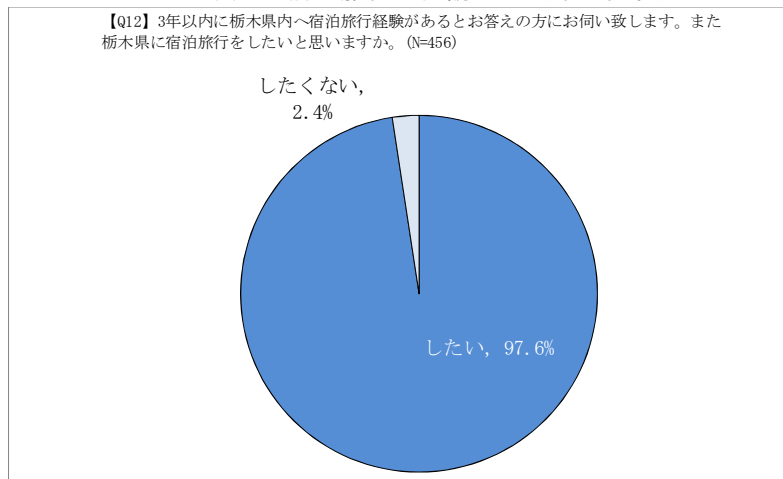


図 II-3-(6)-I. 再び宿泊旅行をしたくない理由（11人）の上位4つ（複数回答）

順位	再び宿泊旅行をしたくない理由	人
1	魅力的な観光スポット・イベントがないから	3
1	日帰りで十分だから	3
2	魅力的なレジャー施設がないから (遊園地、テーマパークなど)	2
2	宿泊地まで遠すぎるから	2



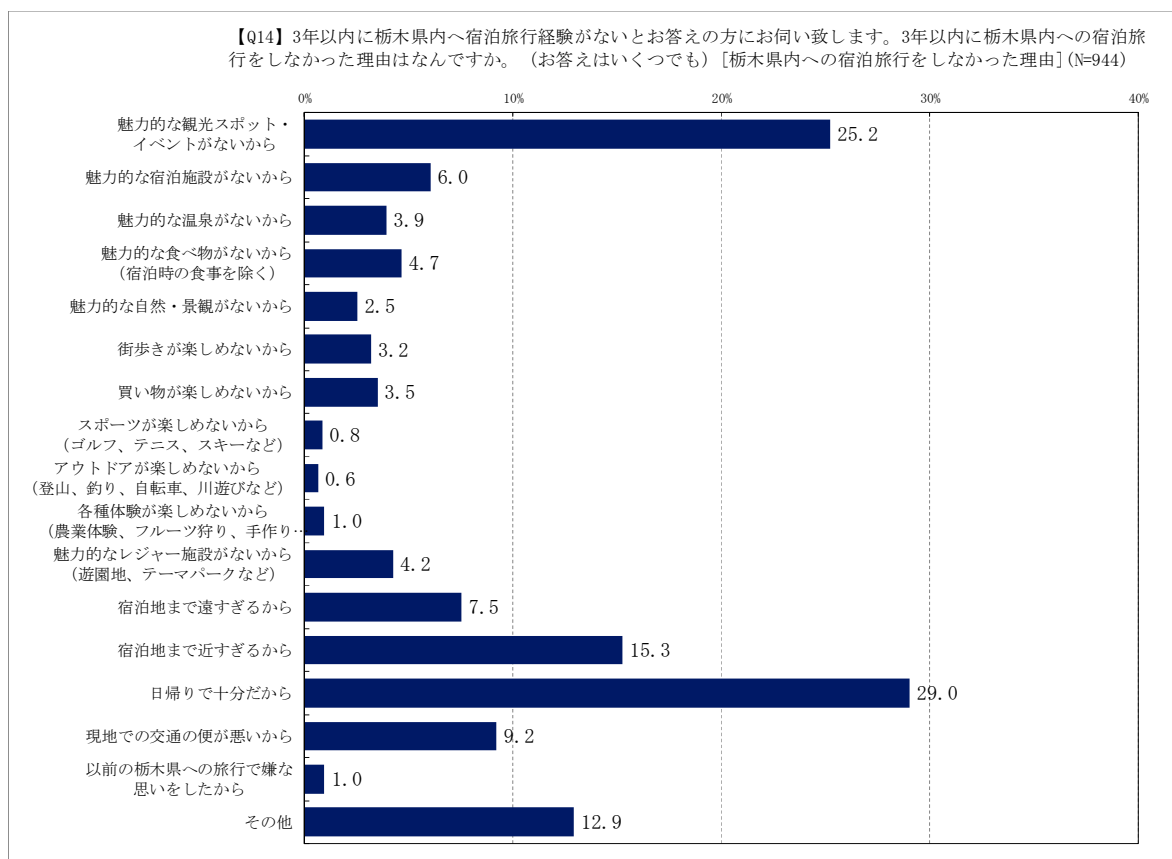
## II. 近隣都県居住者

### (7) 宿泊旅行をしなかった理由

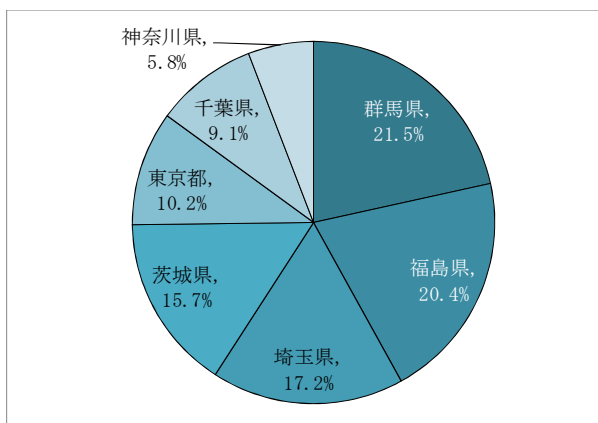
栃木県への宿泊旅行（3年以内）をしなかった理由は、「日帰りで十分だから」（29.0％）が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（25.2％）、「宿泊地まで近すぎるから」（15.3％）となっている。

回答の多かった「日帰りで十分だから」と「魅力的な観光スポット・イベントがないから」について居住地別の内訳をみると、「日帰りで十分だから」では「群馬県」（21.5％）、「福島県」（20.4％）など隣接する県が多くなっている。一方、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」では「神奈川県」（21.0％）、「東京都」（18.5％）など都市部の都県が多くなっている。

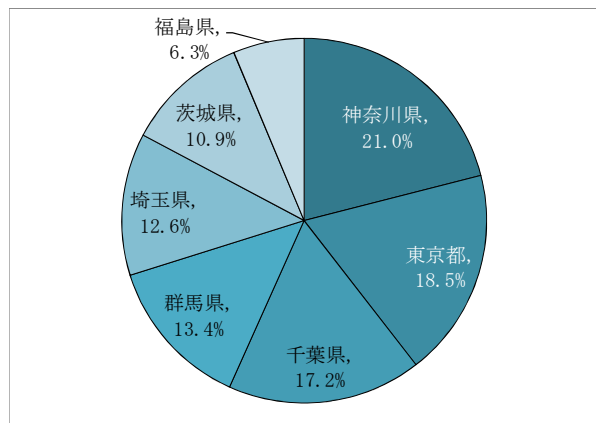
図Ⅱ-3-(7)-7. 宿泊旅行をしなかった理由（複数回答）



図Ⅱ-3-(7)-4. 「日帰りで十分だから」の居住地別内訳



図Ⅱ-3-(7)-5. 「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の居住地別内訳

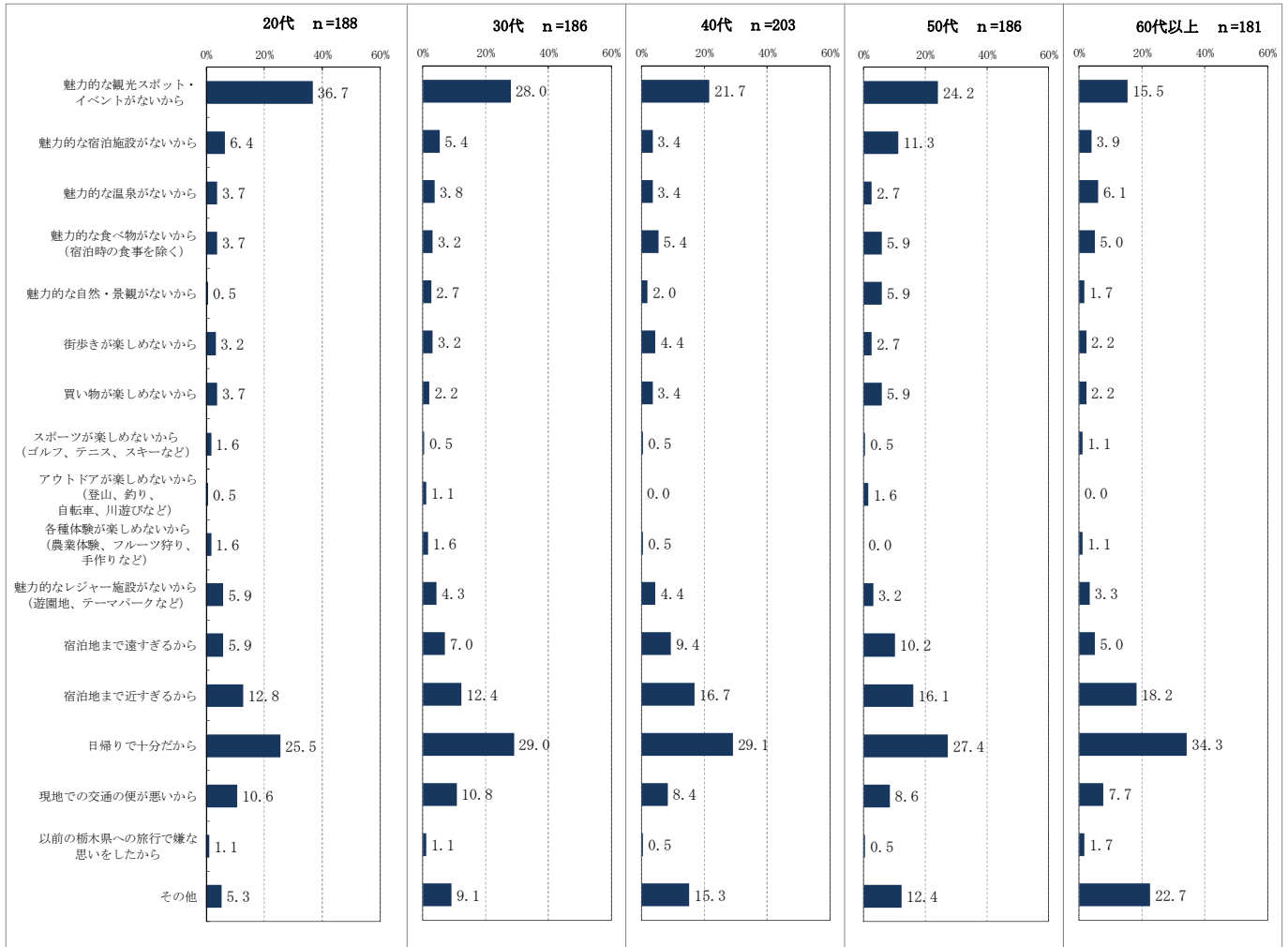


## II. 近隣都県居住者

年代別にみると、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の割合は年代が下がるほど多く「20代」が最も多くなっている。一方、「日帰りで十分だから」は「20代」が最も少なくなっている。

日帰り旅行（43頁参照）でも若い世代ほど「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の割合が多くなっており、若い世代への観光スポット・イベントのPRが栃木県への宿泊旅行を増やすきっかけになる可能性がある。

図Ⅱ-3-(7)-I. 宿泊旅行をしなかった理由（年代別）（複数回答）



## II. 近隣都県居住者

### 4. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県

#### (1) 全項目比較

11の項目について、旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を聞いたところ、「栃木県より魅力を感じる都県はない」と回答した割合は、「各種体験が楽しめる」(30.3%)が最も多く、次いで「スポーツが楽しめる」(30.2%)、「アウトドアが楽しめる」(25.8%)となっている。

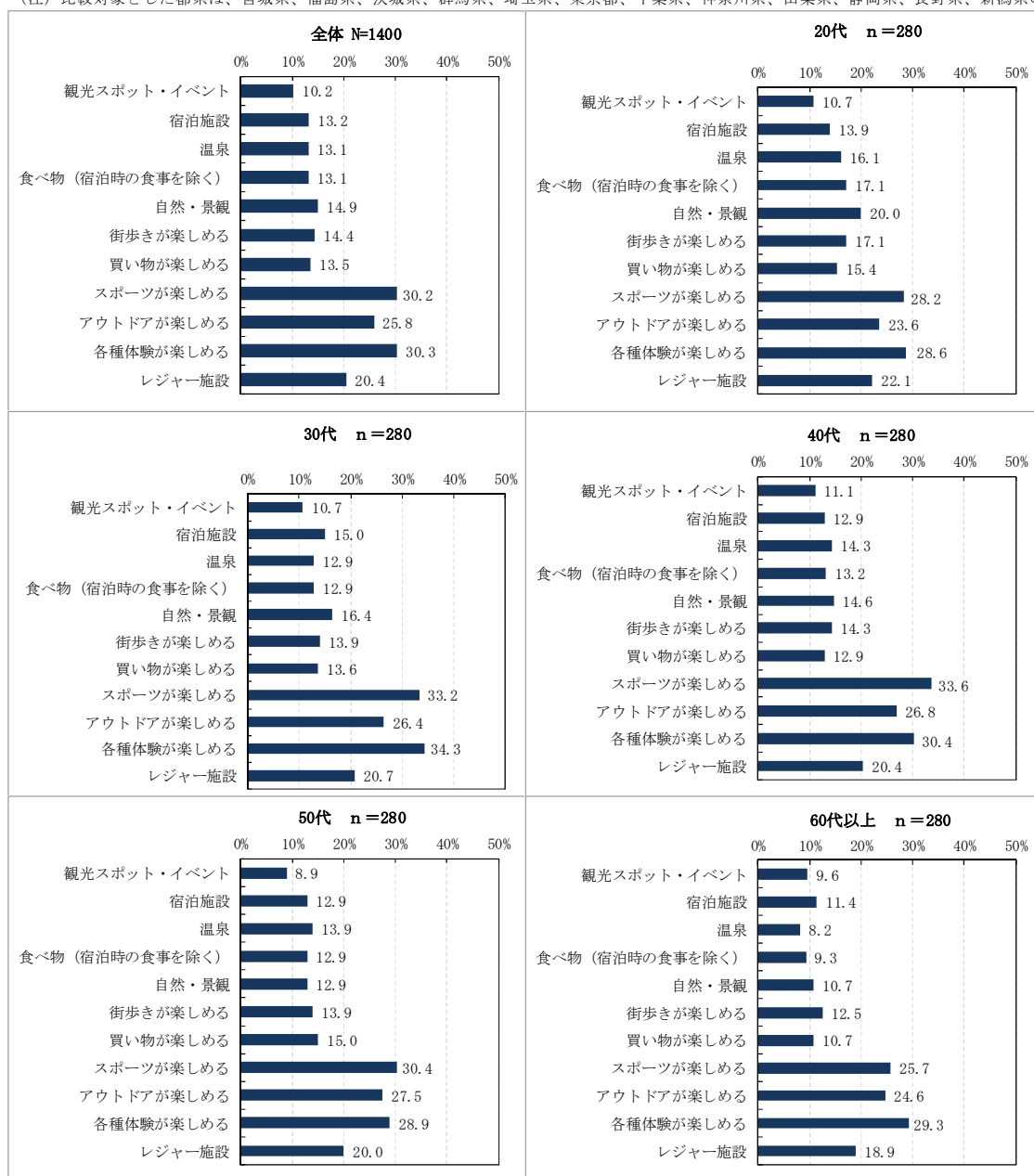
年代別にみても、全ての年代で各種体験、スポーツ、アウトドアが多くなっている。

各種体験、アウトドア、スポーツは日帰り旅行を決めた理由(39頁参照)や宿泊旅行を決めた理由(50頁参照)として少なかった。これらの項目は栃木県の魅力であると認識されているにも関わらず、旅行をする動機に繋がっていない可能性がある。

図Ⅱ-4-(1)-7. 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目(全体、年代別)(単一回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)(N=1400)

(注)比較対象とした都県は、宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県の12都県。



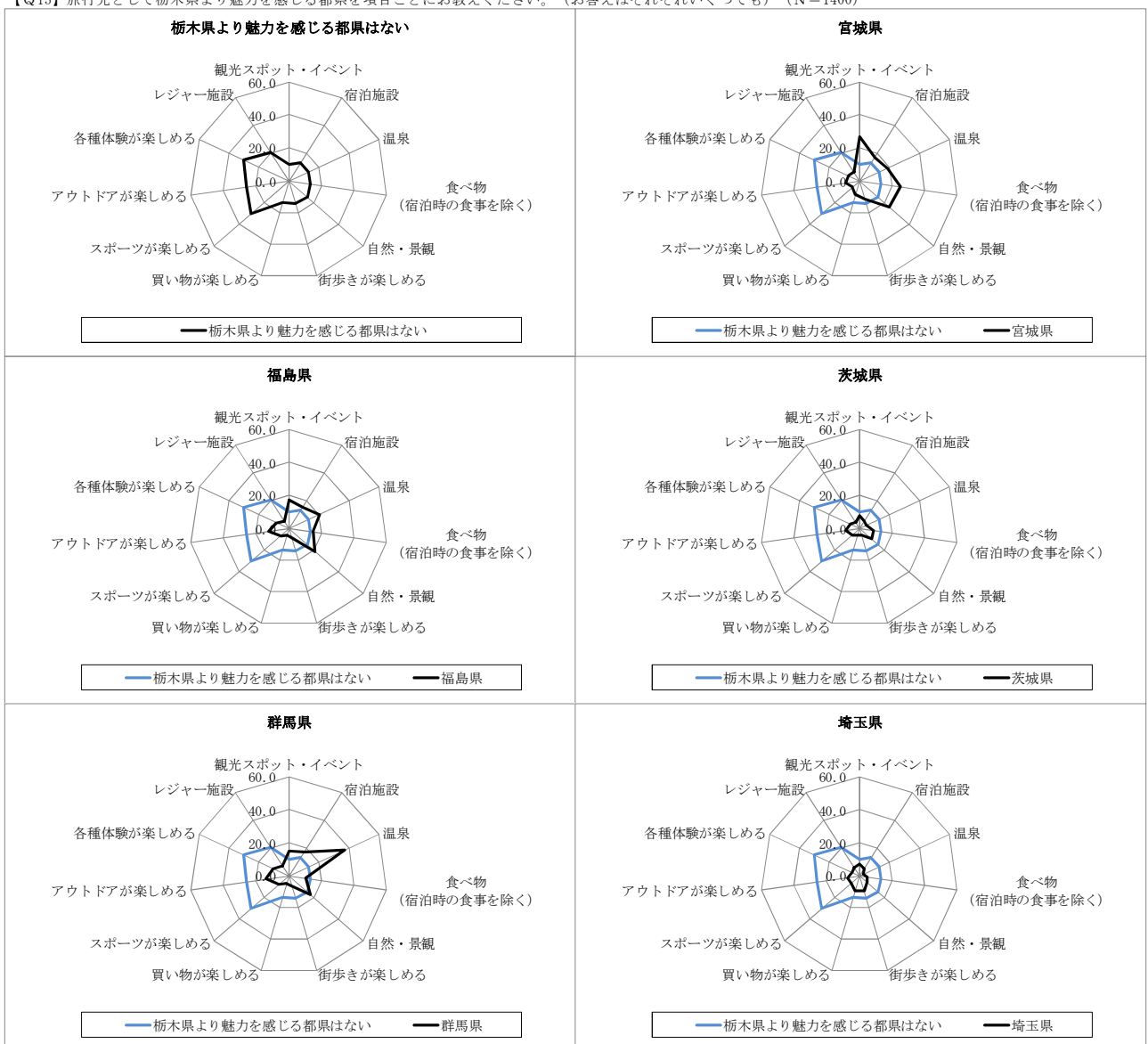
## II. 近隣都県居住者

また、「栃木県より魅力を感じる都県はない」と回答した割合と、他の都県に魅力を感じると回答した割合とを比較すると「各種体験が楽しめる」、「アウトドアが楽しめる」、「スポーツが楽しめる」では、「栃木県より魅力を感じる都県はない」と回答した割合が全ての都県を上回っている。

項目別に特徴的なところをみていくと、「温泉」では「群馬県」が大きく上回っている。「食べ物」では「宮城県」、「静岡県」、「新潟県」が上回っており、食のイメージ、ブランド力が高い可能性がある。「自然・景観」では「山梨県」、「静岡県」、「長野県」が上回っており南アルプスや富士山などのイメージが強いと考えられる。「買い物が楽しめる」や「街歩きが楽しめる」では都市部の「東京都」や「神奈川県」が大きく上回っている。東京都や神奈川県などの都市部はメディアで取り上げられることも多く、飲食店や販売店、観光スポット自体が多いことが影響していると考えられる。「茨城県」や「埼玉県」では総じて低くなっており、全体的に観光イメージが低いことがわかる。

図Ⅱ-4-(1)-イ. 栃木県より魅力を感じる都県（都県別）①（複数回答）

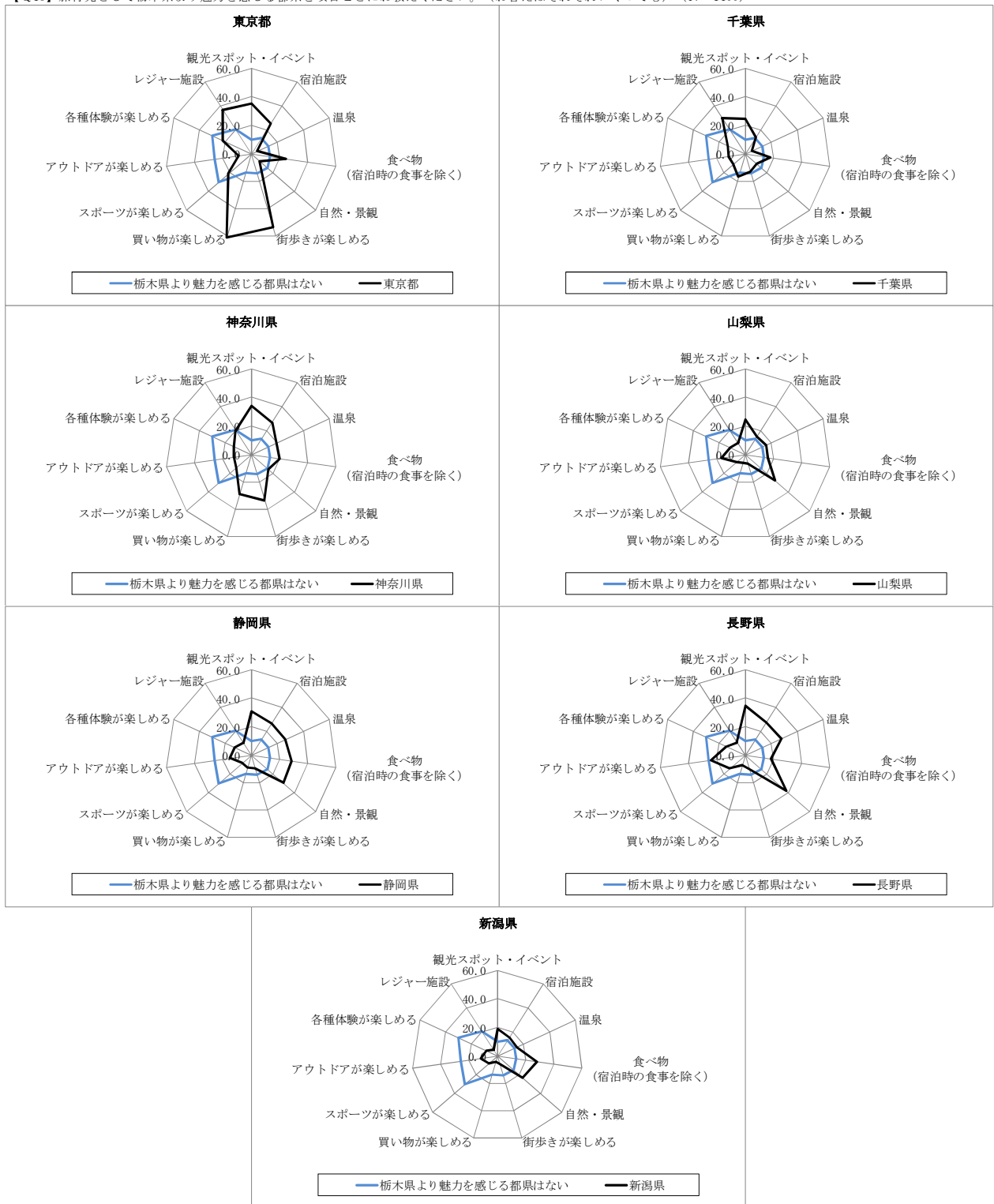
【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。（お答えはそれぞれいくつでも）（N=1400）



## II. 近隣都県居住者

図Ⅱ-4-(1)-ウ. 栃木県より魅力を感じる都県（都県別）②（複数回答）

【Q15】 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えください。（お答えはそれぞれいくつでも）（N=1400）



(2) 個別項目

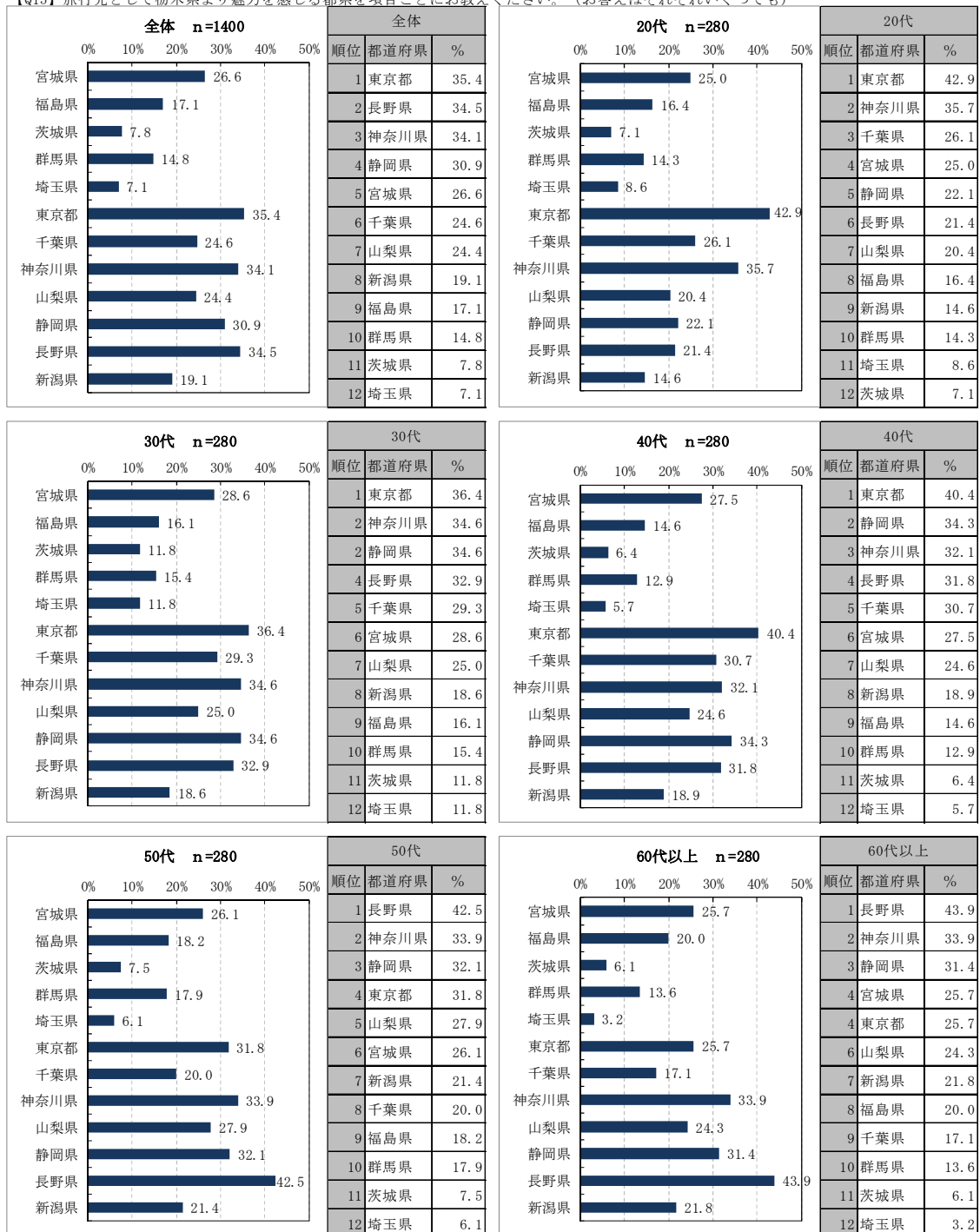
①観光スポット・イベント

「観光スポット・イベント」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「東京都」(35.4%)が最も多く、次いで「長野県」(34.5%)、「神奈川県」(34.1%)、「静岡県」(30.9%)となっている。

年代別にみると、「20代」～「40代」では「東京都」が最も多くなっているのに対して、「50代」、「60代以上」では「長野県」が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-①. 栃木県より魅力を感じる都県[観光スポット・イベント] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えください。(お答えはそれぞれいくつでも)



## II. 近隣都県居住者

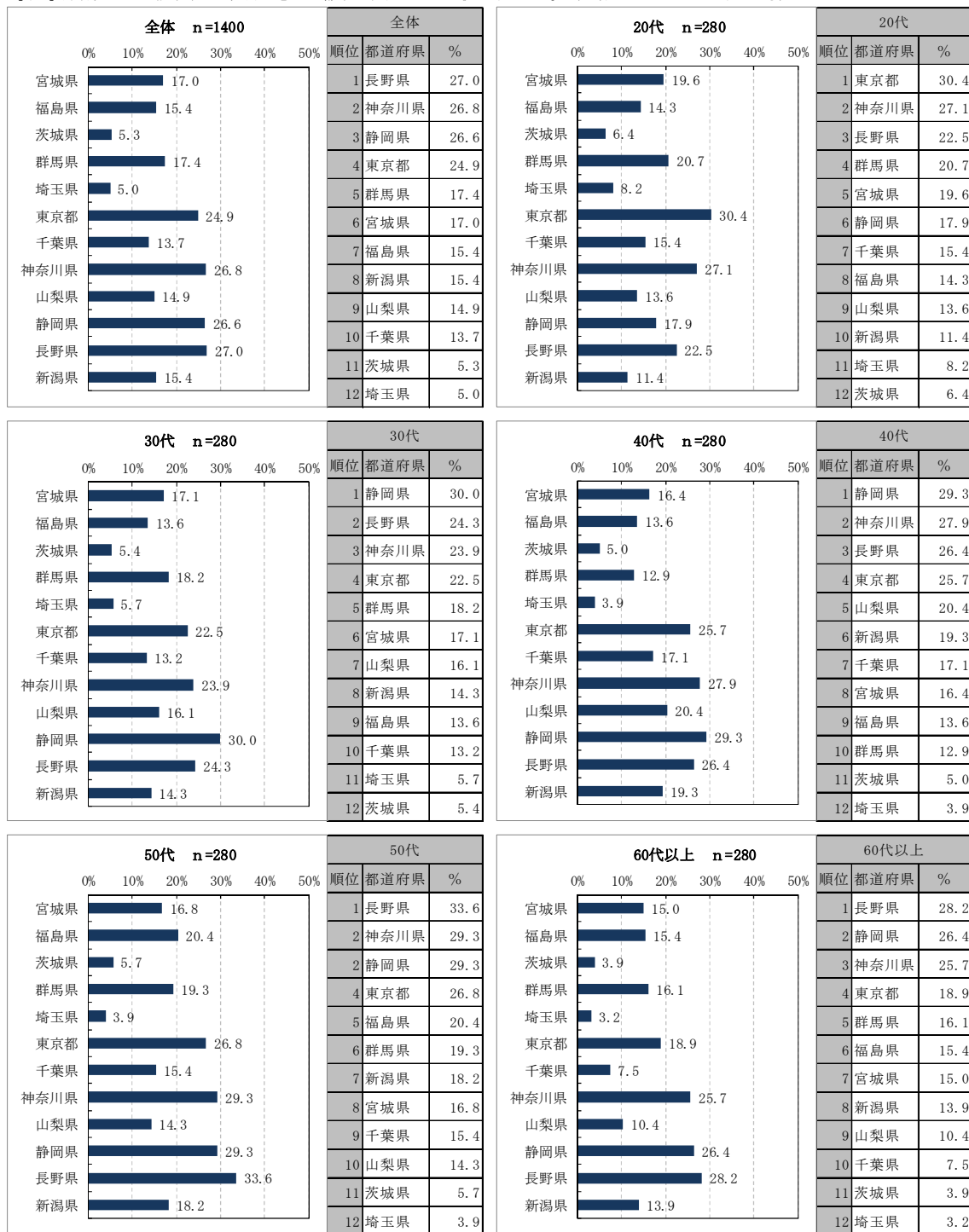
### ②宿泊施設

「宿泊施設」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「長野県」(27.0%)が最も高く、次いで「神奈川県」(26.8%)、「静岡県」(26.6%)、「東京都」(24.9%)となっている。

年代別にみると、「20代」では「東京都」(30.4%)が最も多くなっているのに対して、「30代」、「40代」では「静岡県」(30.0%、29.3%)、「50代」、「60代以上」では「長野県」(33.6%、28.2%)が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-②. 栃木県より魅力を感じる都県[宿泊施設] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)





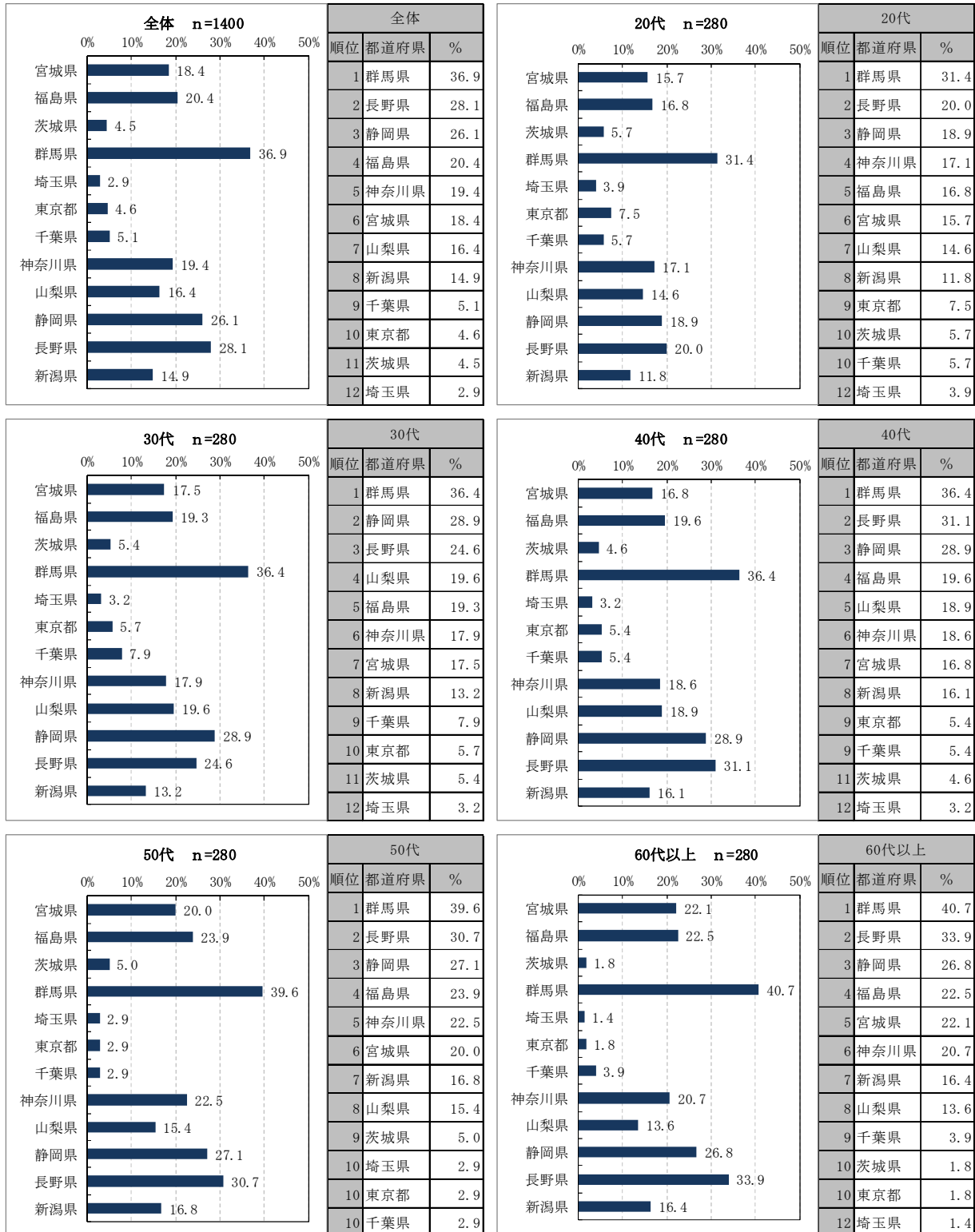
③温泉

「温泉」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「群馬県」(36.9%)が最も多く、次いで「長野県」(28.1%)、「静岡県」(26.1%)となっている。

年代別にみると、全ての年代で「群馬県」が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-③. 栃木県より魅力を感じる都県[温泉] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)





## II. 近隣都県居住者

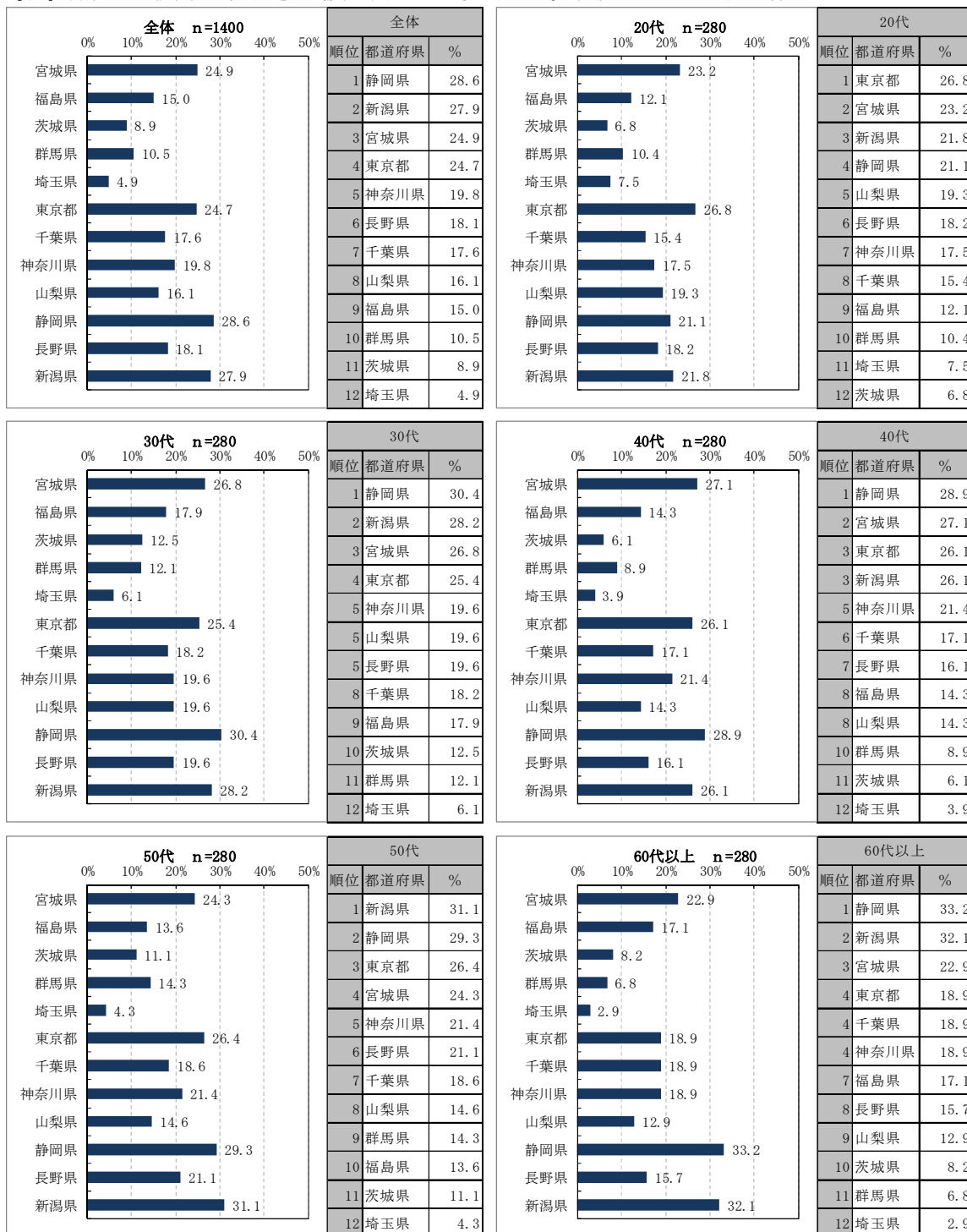
### ④食べ物（宿泊時の食事を除く）

「食べ物（宿泊時の食事を除く）」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体で見ると「静岡県」(28.6%)が最も多く、次いで「新潟県」(27.9%)、「宮城県」(24.9%)、「東京都」(24.7%)となっている。

年代別にみると、「20代」では「東京都」(26.8%)が最も多く、「30代」、「40代」、「50代」、「60代以上」では「静岡県」と「新潟県」が多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-④. 栃木県より魅力を感じる都県[食べ物（宿泊時の食事を除く）]（複数回答）

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。（お答えはそれぞれいくつでも）



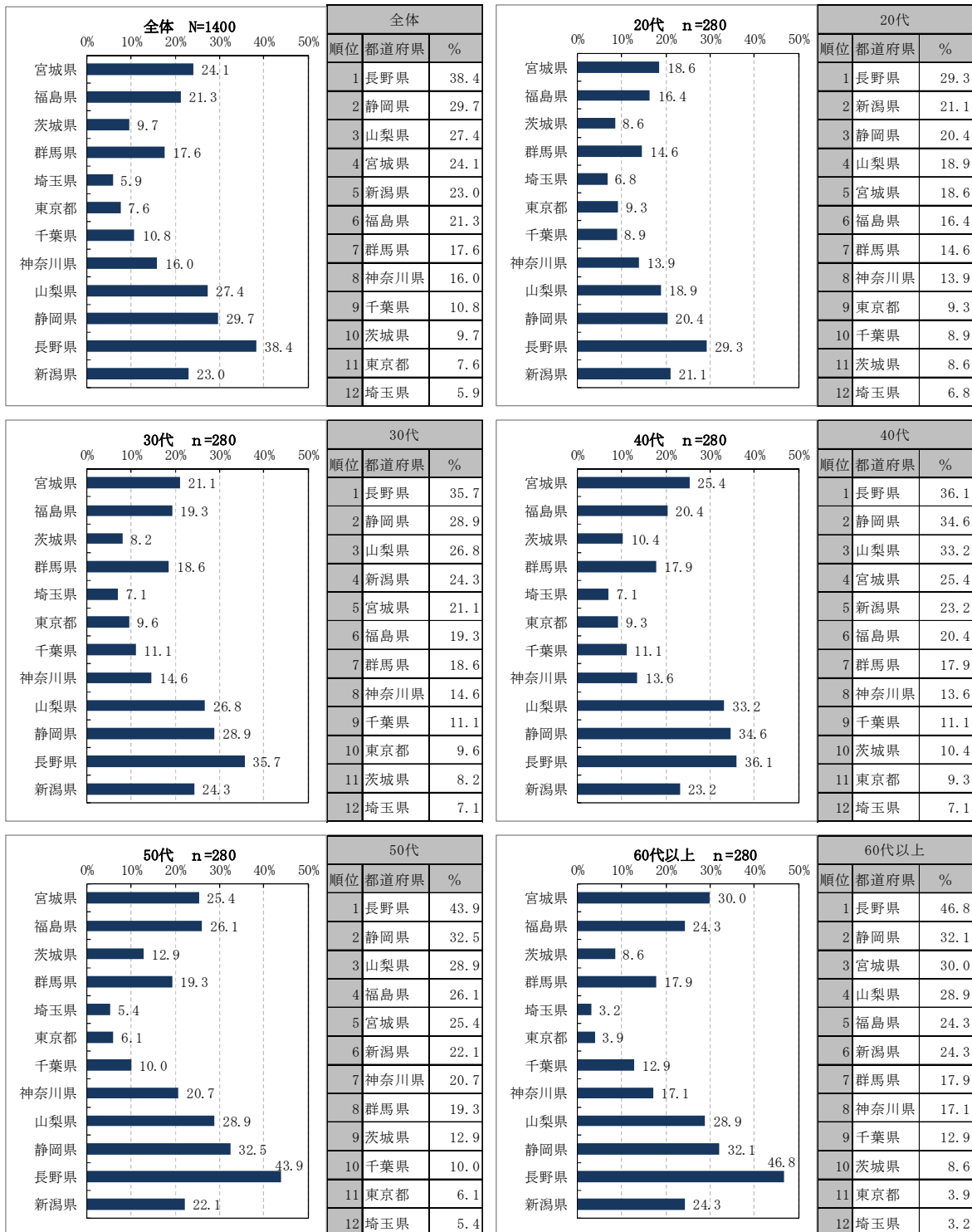
⑤自然・景観

「自然・景観」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「長野県」(38.4%)が最も多く、次いで「静岡県」(29.7%)、「山梨県」(27.4%)となっている。

年代別にみると、全ての年代で「長野県」が最も多くなっており、年代が上がるにつれてその割合が多くなっている。

図 II-4-(2)-⑤. 栃木県より魅力を感じる都県[自然・景観] (複数回答)

【Q15】 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)



## II. 近隣都県居住者

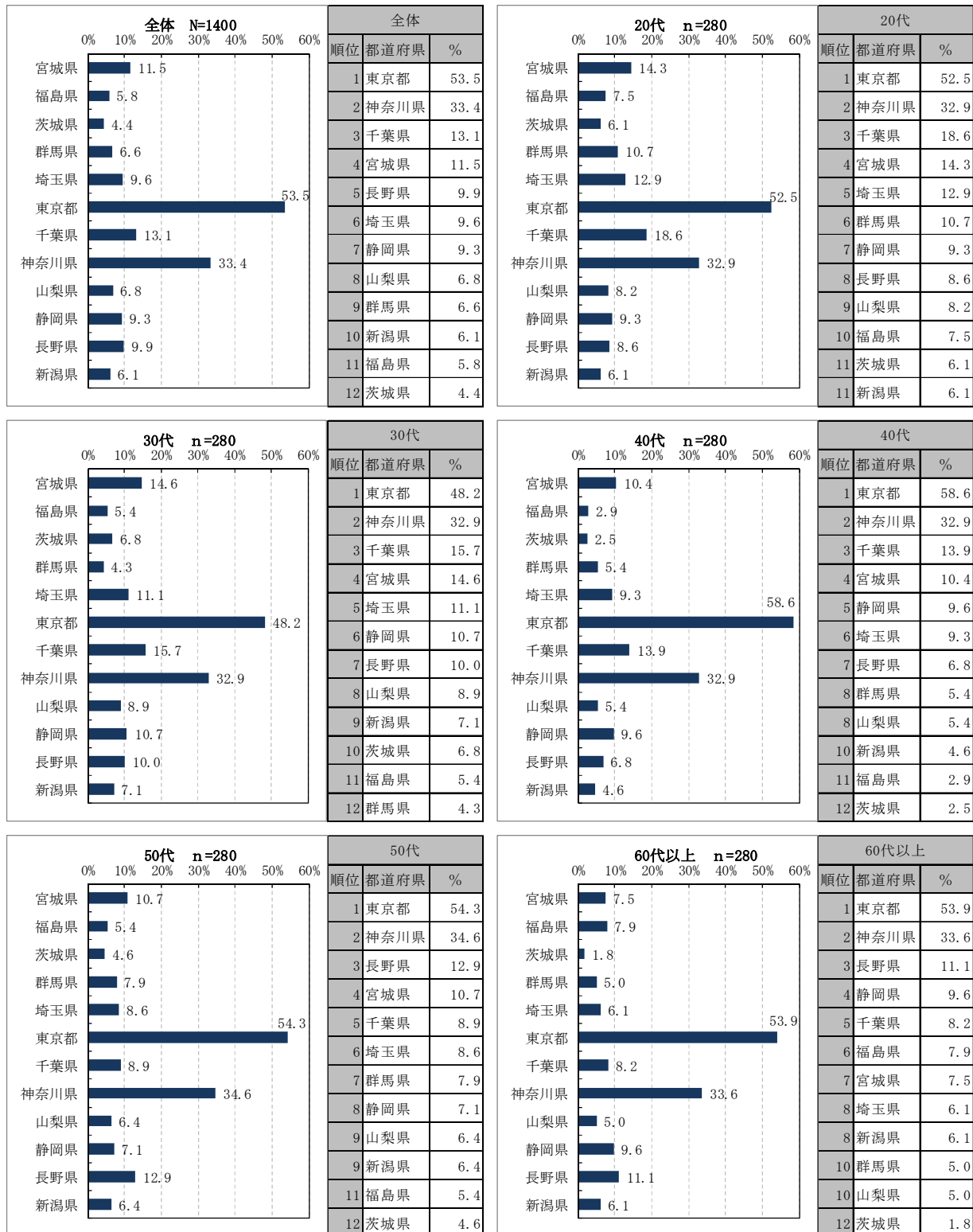
### ⑥街歩きが楽しめる

「街歩きが楽しめる」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「東京都」(53.5%)が最も多く、次いで「神奈川県」(33.4%)となっている。

年代別にみても、概ね同じ傾向を示している。

図Ⅱ-4-(2)-⑥. 栃木県より魅力を感じる都県[街歩きが楽しめる] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)



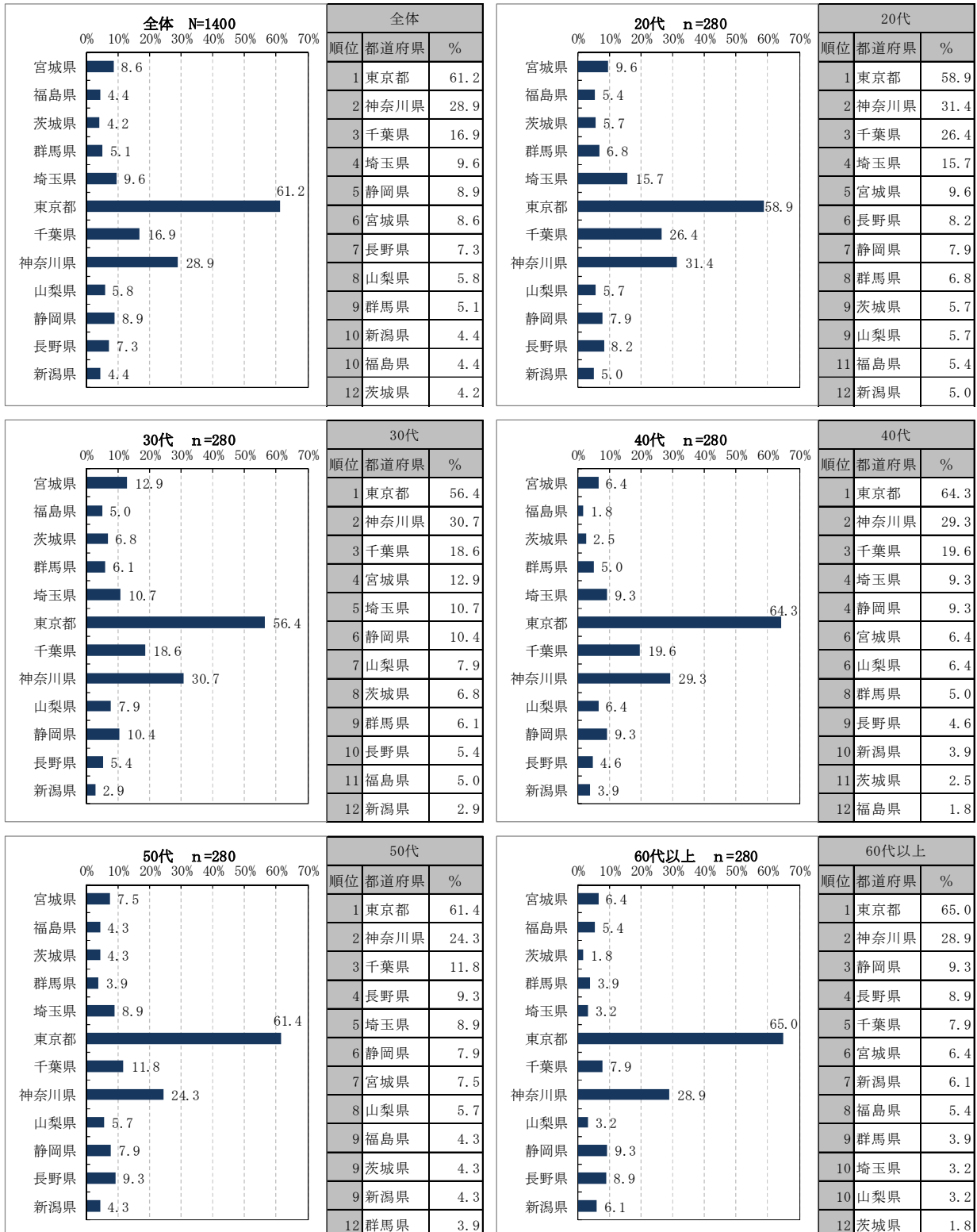
⑦買い物が楽しめる

「買い物が楽しめる」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「東京都」(61.2%)が最も多く、次いで「神奈川県」(28.9%)となっている。

年代別にみても、概ね同じ傾向を示している。

図Ⅱ-4-(2)-⑦. 栃木県より魅力を感じる都県[買い物が楽しめる] (複数回答)

【Q15】 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)



## II. 近隣都県居住者

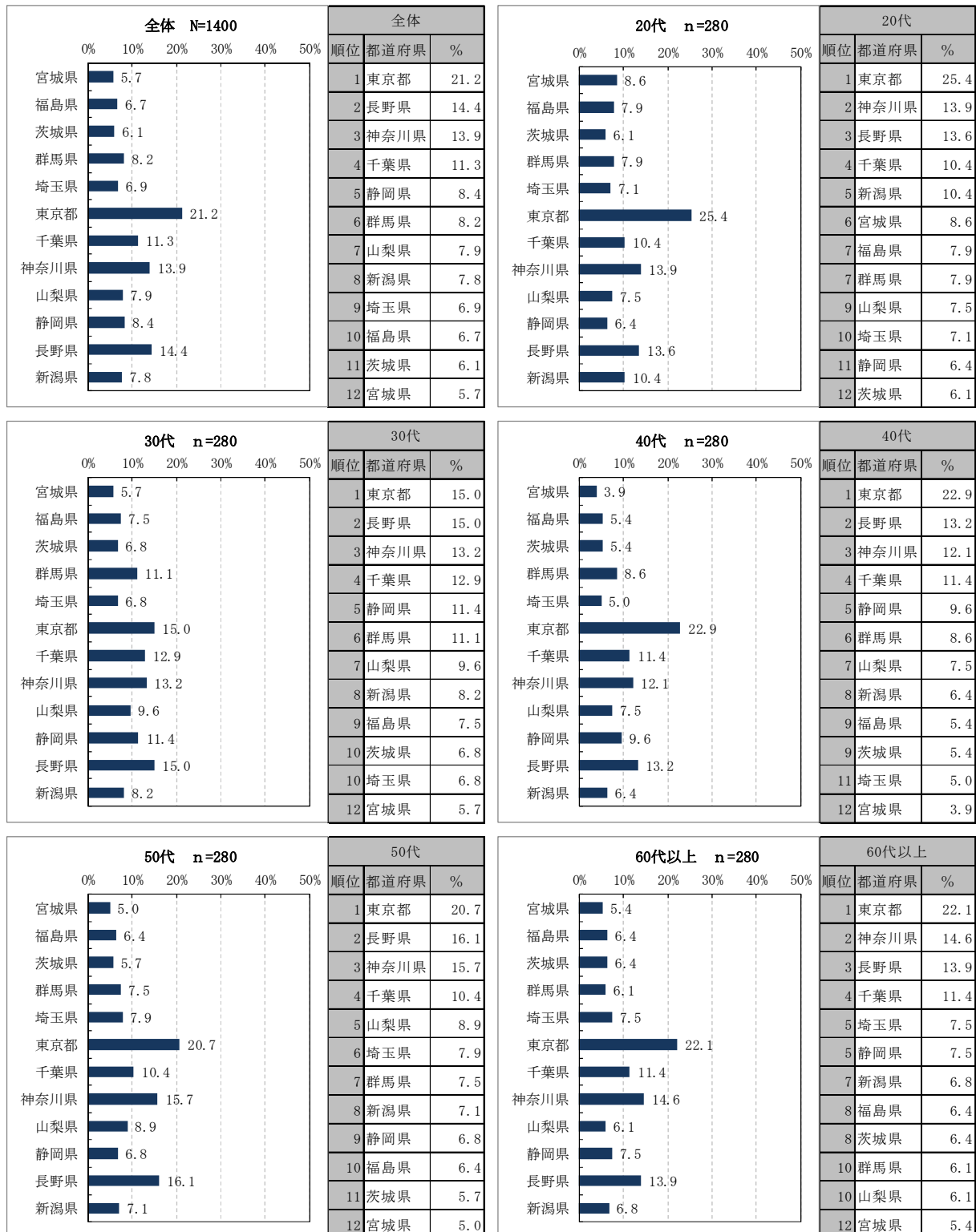
### ⑧スポーツが楽しめる

「スポーツが楽しめる」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体で見ると「東京都」(21.2%)が最も多くなっている。

年代別にみても、全ての年代で「東京都」が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-⑧. 栃木県より魅力を感じる都県[スポーツが楽しめる](複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)



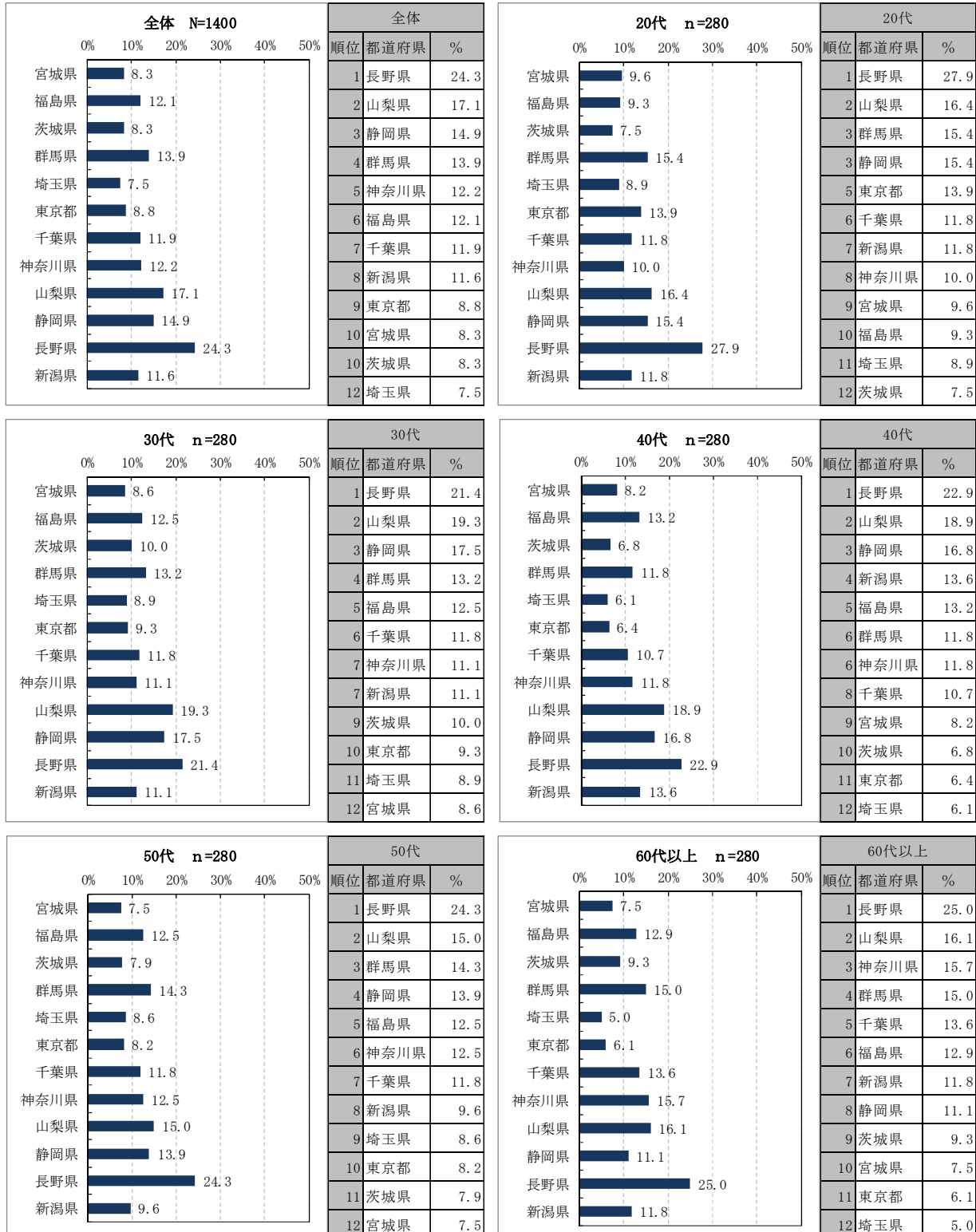
⑨アウトドアが楽しめる

「アウトドアが楽しめる」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体で見ると「長野県」(24.3%)が最も多くなっている。

年代別にみると、全ての年代で「長野県」が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-⑨. 栃木県より魅力を感じる都県[アウトドアが楽しめる] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)



## II. 近隣都県居住者

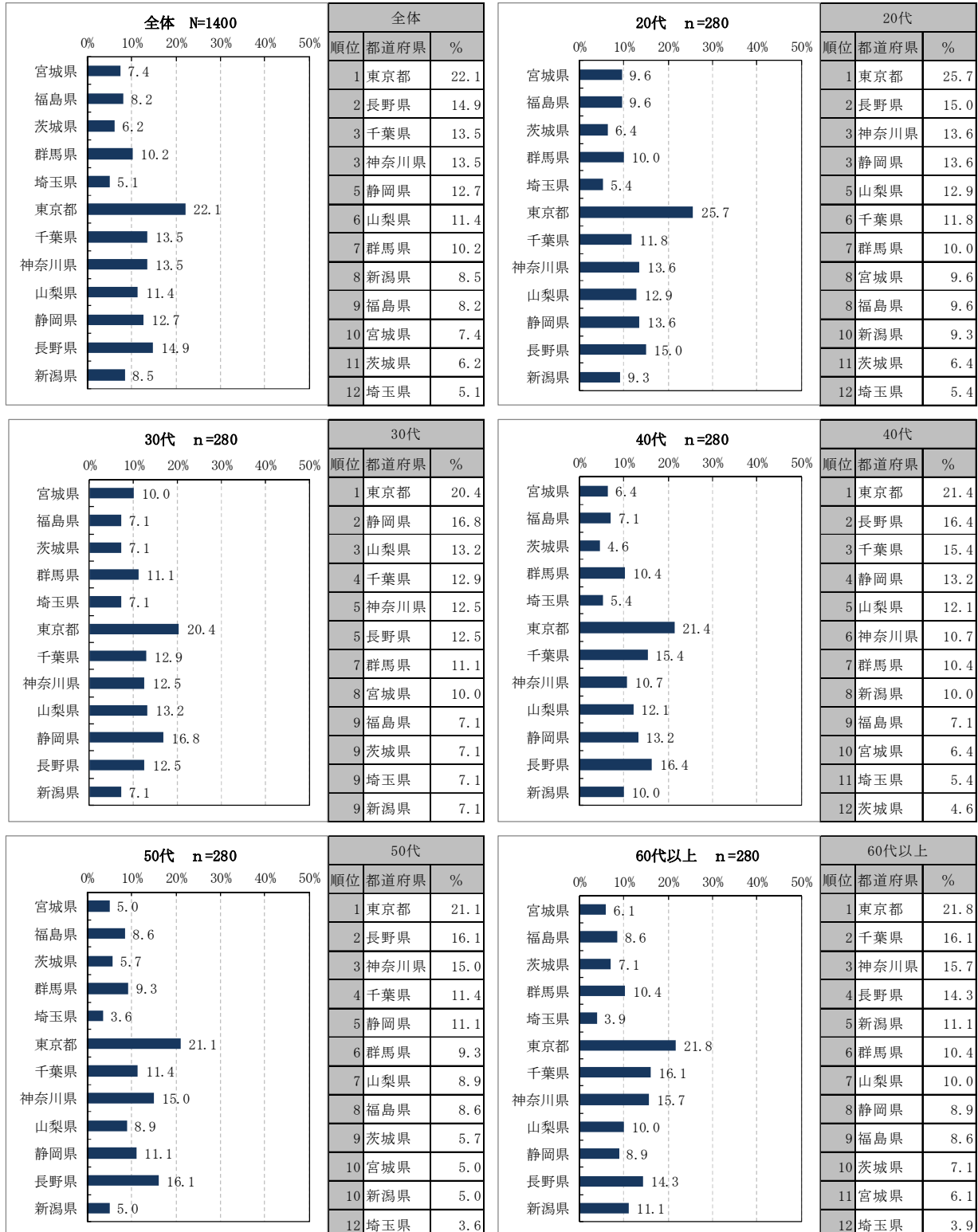
### ⑩各種体験が楽しめる

「各種体験が楽しめる」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体で見ると「東京都」(22.1%)が最も多くなっている。

年代別にみても、全ての年代で「東京都」が最も多くなっている。

図Ⅱ-4-(2)-⑩. 栃木県より魅力を感じる都県[各種体験が楽しめる] (複数回答)

【Q15】旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)





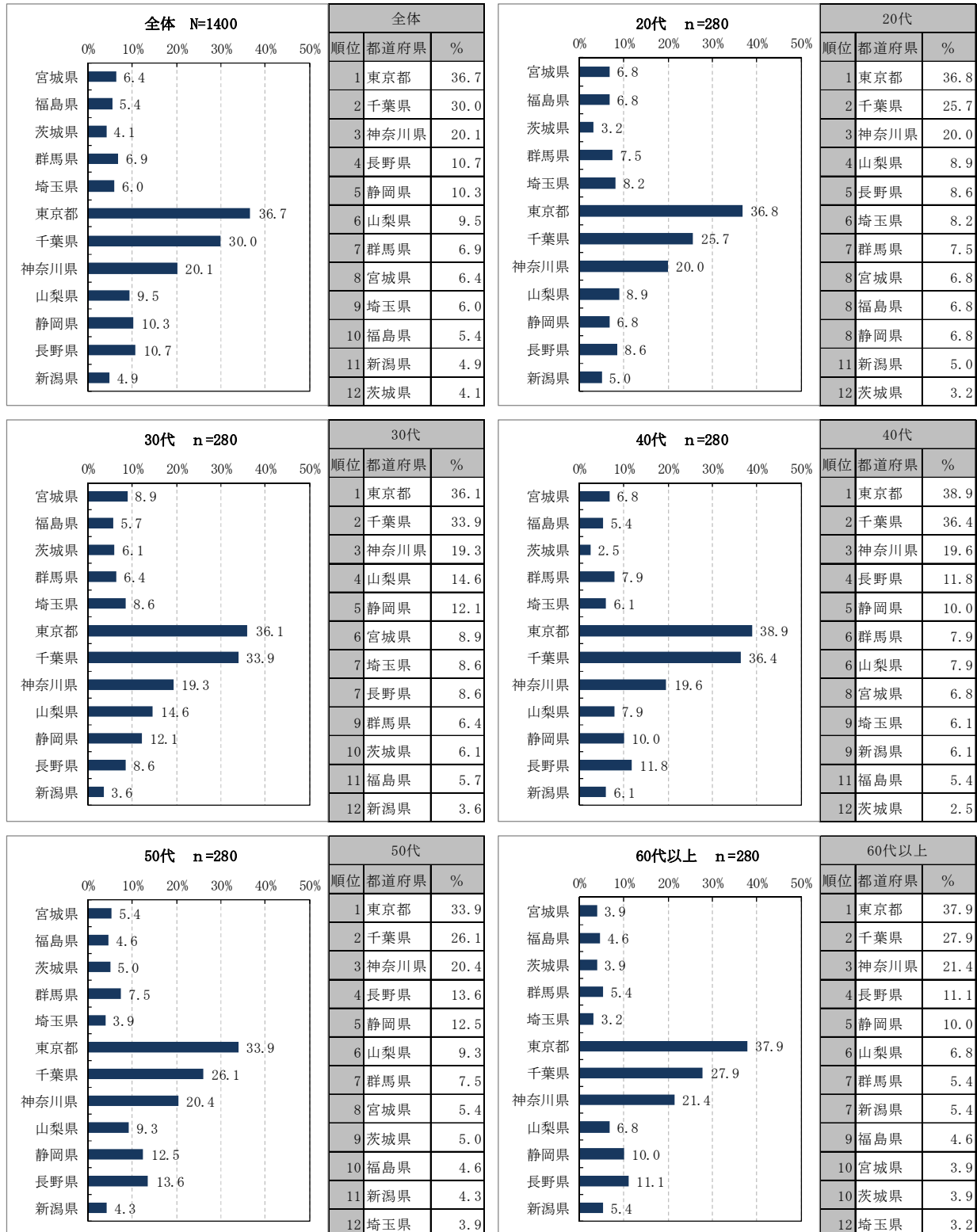
⑪ レジャー施設

「レジャー施設」で栃木県より魅力を感じる都県は、全体でみると「東京都」(36.7%)が最も多く、次いで「千葉県」(30.0%)、「神奈川県」(20.1%)となっている。

年代別にみても、概ね同じ傾向を示している。

図 II-4-(2)-⑪. 栃木県より魅力を感じる都県[レジャー施設が楽しめる] (複数回答)

【Q15】 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を項目ごとにお教えてください。(お答えはそれぞれいくつでも)





## II. 近隣都県居住者

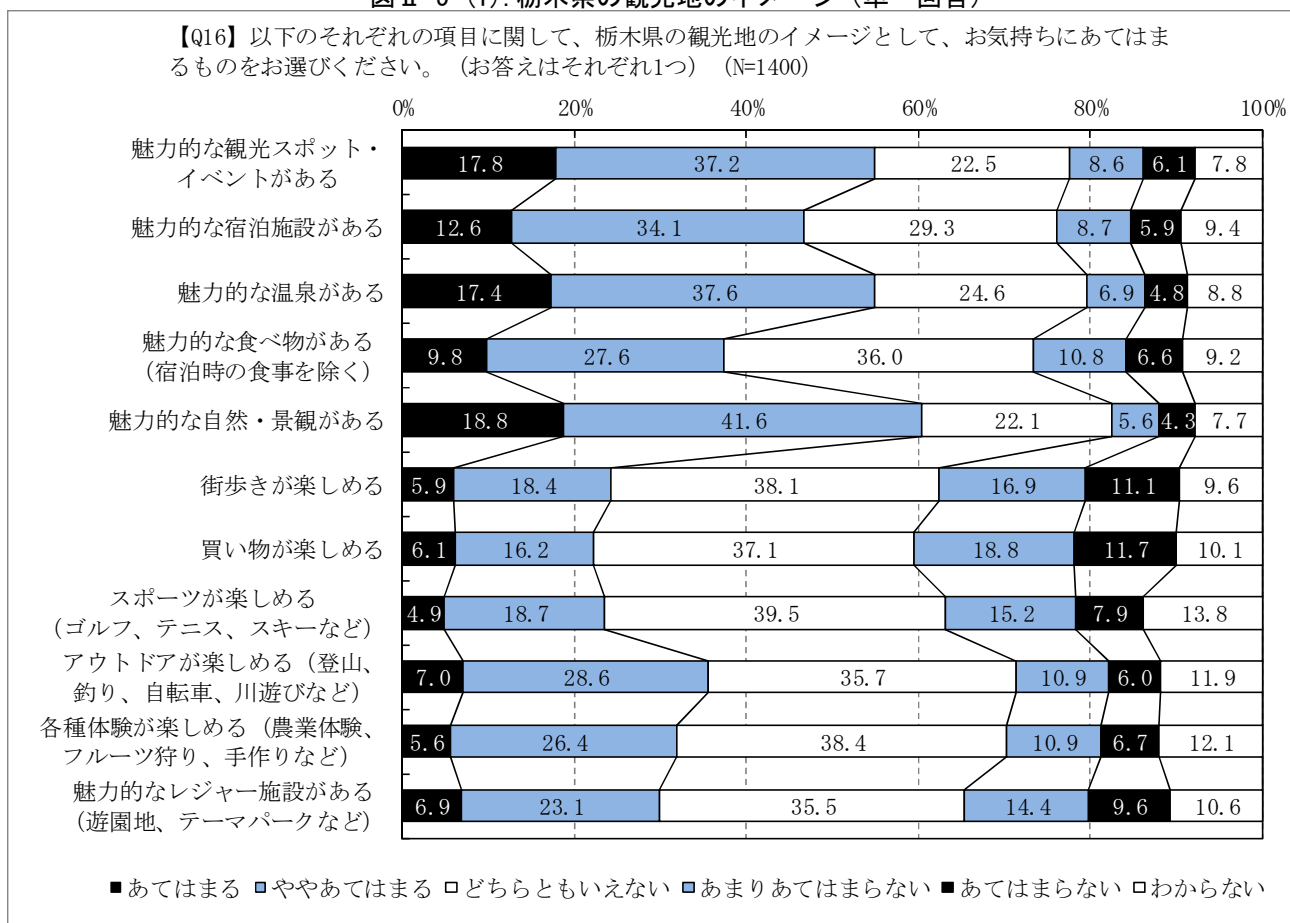
### 5. 栃木県の観光地のイメージ

#### (1) 栃木県の観光地のイメージ

栃木県の観光地のイメージは、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計でみると、「魅力的な自然・景観がある」(60.4%)が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがある」、「魅力的な温泉がある」(共に55.0%)となっている。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計でみると、「買い物が楽しめる」(30.5%)が最も多く、次いで「街歩きが楽しめる」(28.0%)、「魅力的なレジャー施設がある」(24.0%)となっている。

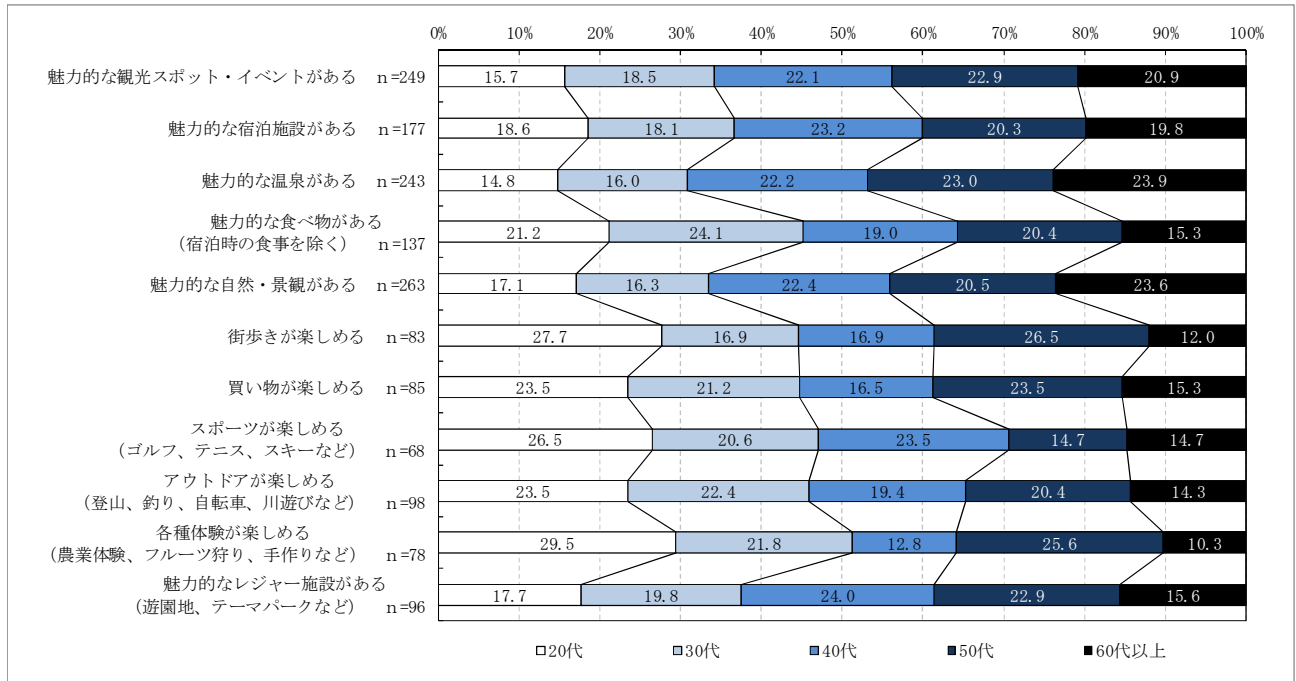
図Ⅱ-5-(1). 栃木県の観光地のイメージ (単一回答)



(2) 栃木県の観光地のイメージ（年代別）

栃木県の観光地のイメージについて「あてはまる」の年代別の内訳をみると、「魅力的な温泉がある」、「魅力的な観光スポット・イベントがある」、「魅力的な自然・景観がある」では50代以上が多くなっている。一方、「各種体験が楽しめる」では30代以下が多くなっている。

図 II-5-(2). 「あてはまる」の年代別内訳



## II. 近隣都県居住者

### (3) 栃木県の観光地のイメージ（居住地別）

栃木県の観光地のイメージについて「あてはまる」の居住地別の内訳をみると、全ての項目で福島県が多くなっている。

図Ⅱ-5-(3). 「あてはまる」の居住地別内訳

